

愛知県歯科医師国民健康保険組合  
データヘルス計画

平成29年7月

<b>第1章</b>	<b>計画策定について</b>	
	1. 背景	3
	2. データヘルス計画の位置づけ	3
	3. 計画期間	4
<b>第2章</b>	<b>現状と課題把握</b>	
	1. 愛知県歯科医師国民健康保険組合の状況	5
	(1) 基本情報	5
	(2) 組合員と家族の加入状況	5
	① 被保険者の資格区分	5
	② 被保険者の加入状況	5
	③ 性別年代別の加入状況	6
	(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	8
	① 特定健康診査	8
	② 特定保健指導	10
	(4) 主たる死因の状況	13
	2. 過去の取り組みの考察	14
	3. 医療情報分析結果	15
	(1) 基礎統計	15
	(2) 高額レセプトの件数及び要因	16
	① 高額レセプトの件数及び割合	16
	② 高額レセプト発生患者の疾病傾向	17
	(3) 疾病別医療費	18
	① 大分類による疾病別医療費統計	18
	② 中分類による疾病別医療費統計	20
	(4) 生活習慣病に係る分析	22
	(5) がん(悪性新生物)に係る分析	37
	4. 特定健康診査・特定保健指導に係る分析結果	30
	(1) 特定健康診査に係る分析	30
	① 有所見者の状況	30
	② 質問別回答状況	32
	③ 特定健康診査の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況	33
	④ 特定健康診査未受診者の医療機関受診状況	34

-目次-

	(2) 特定保健指導に係る分析	35
	①保健指導レベル該当状況	35
	②特定保健指導対象者・非対象者の生活習慣病医療費比較	36
	5. 分析結果に基づく健康課題の把握	38
	(1)分析結果	38
	(2)分析結果からみた課題と対策	40
<b>第3章</b>	<b>保健事業実施内容</b>	
	1. 各事業の目的と概要一覧	41
	2. 全体スケジュール	42
	3. 各事業の実施内容と評価方法	43
	(1)特定健康診査事業	43
	(2)特定保健指導事業	44
	(3)人間ドック事業	45
	(4)歯科医師国保健診事業	46
	(5)がん検診事業【新規】	47
<b>第4章</b>	<b>その他</b>	
	1. データヘルス計画の見直し	48
	2. 計画の公表・周知	48
	3. 事業運営上の留意事項	48
	4. 個人情報保護	48

# 第1章 計画策定について

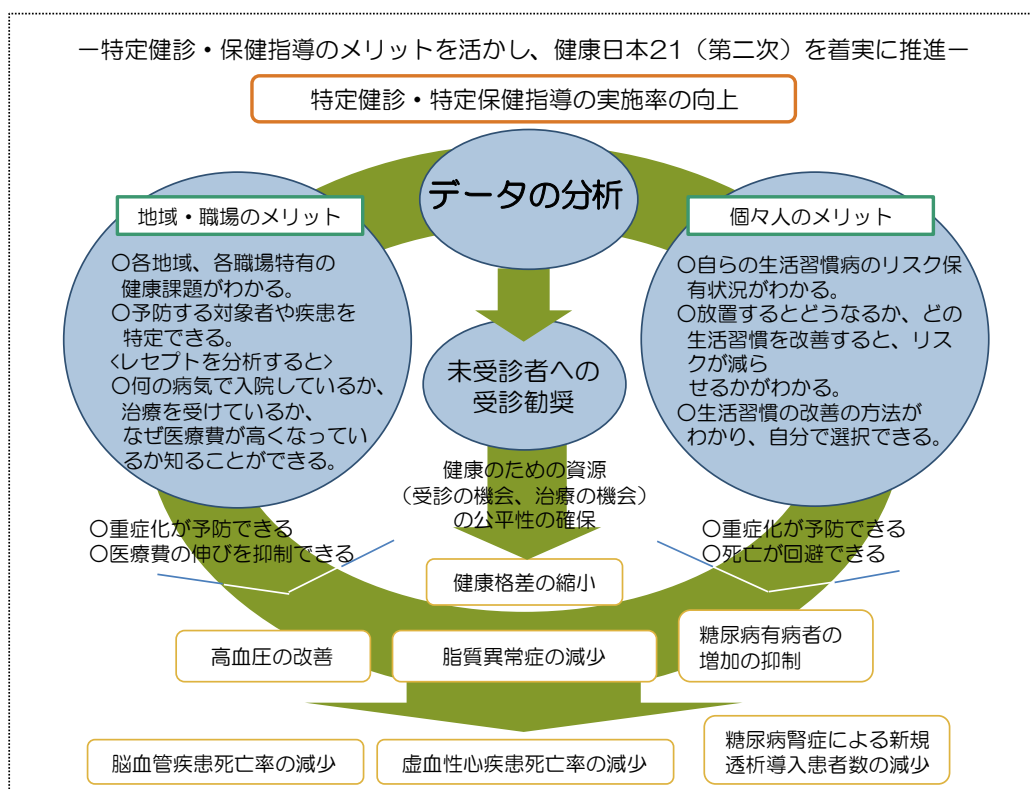
## 1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(特定健康診査の結果や診療報酬明細書(以下、「レセプト」という。))等から得られる情報を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちにに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月4日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえデータヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

## 2. データヘルス計画の位置づけ

データヘルス計画とは、PDCAサイクルに沿った効率的かつ効果的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画である。計画の策定及び評価に当たっては、健康診査・レセプト等のデータを活用し、国の「健康日本21(第二次)」や愛知県の「健康日本21あいち新計画」を踏まえたうえで、当国保組合の特定健康診査等実施計画とも整合性を図る。



出典：標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】

### 3. 計画期間

---

本データヘルス計画の計画期間は、平成30年度から平成35年度の6年間とする。

#### ■ 計画期間(6年間)

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

#### ■ データ分析期間

- ・ 国保データベース (KDB) システムデータ (平成29年4月抽出分)  
平成26年度～平成28年度(3年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトデータ  
平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ  
平成28年1月～平成28年12月健診分(12カ月分)

### 1. 愛知県歯科医師国民健康保険組合の状況

#### (1) 基本情報

当国保組合は、歯科医業又は歯科医業に従事する一般社団法人愛知県歯科医師会の会員である歯科医師、及び当該歯科医師が開設又は管理者となっている愛知県内の地域の診療所に勤務する者(歯科技工士、衛生士、助手、事務その他等)とその家族が、主たる組合員又は家族として加入している職域の国民健康保険組合である。

#### (2) 組合員と家族の加入状況

##### ① 被保険者の資格区分

正組合員・・・一般社団法人愛知県歯科医師会の会員

準組合員・・・正組合員の所属する医療機関に勤務する者

##### ② 被保険者の加入状況

被保険者数は19,356人(平成29年4月1日付)であり、準組合員は正組合員の2.8倍となっている。

家族は正組合員の家族が準組合員の家族のおよそ4倍となっており、突出して多い。

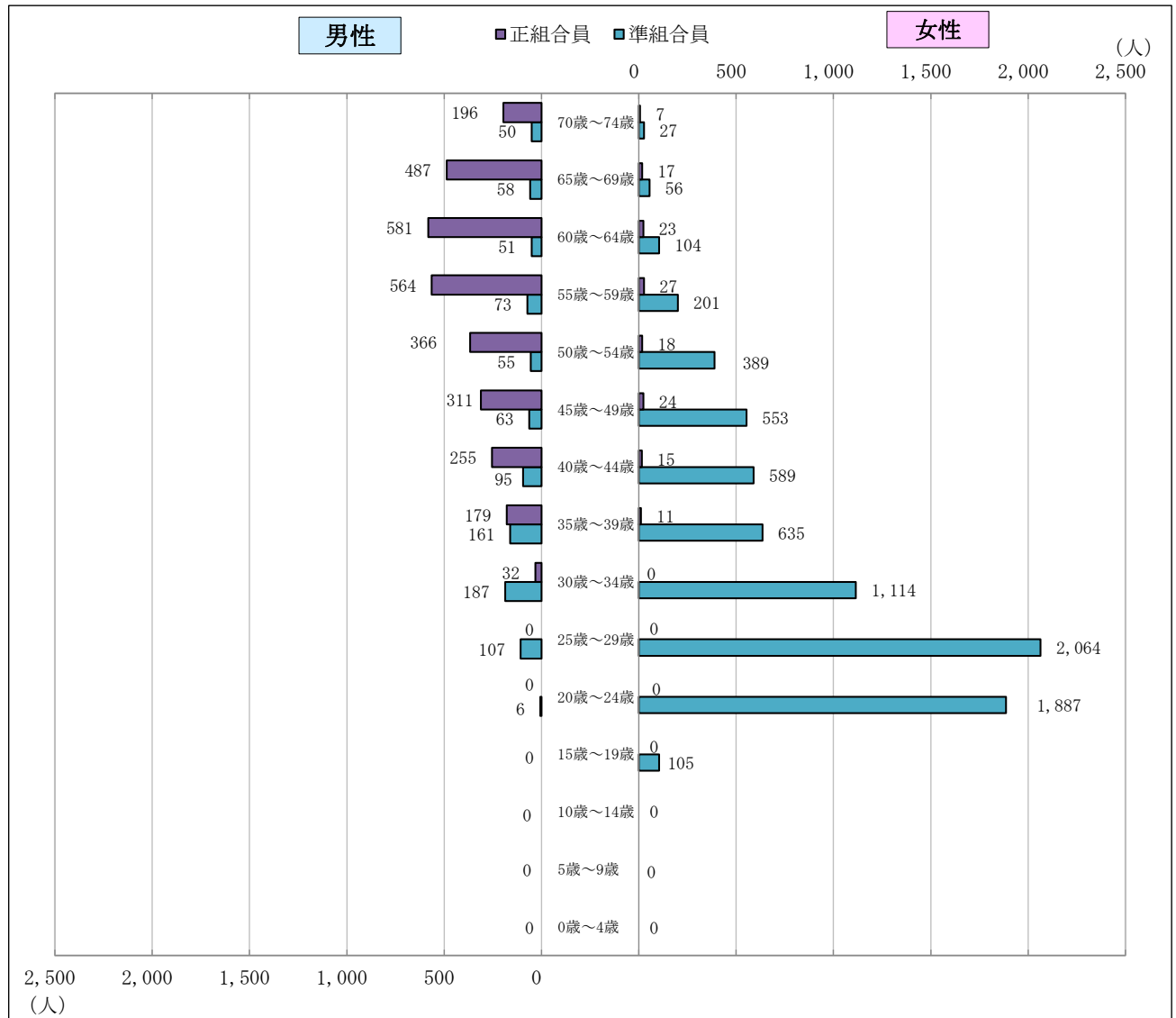
被保険者数の内訳(平成29年4月1日付)

被保険者数 (人)	正組合員	準組合員	合計
組合員	3,113	8,630	11,743
家族	6,077	1,536	7,613
合計	9,190	10,166	19,356

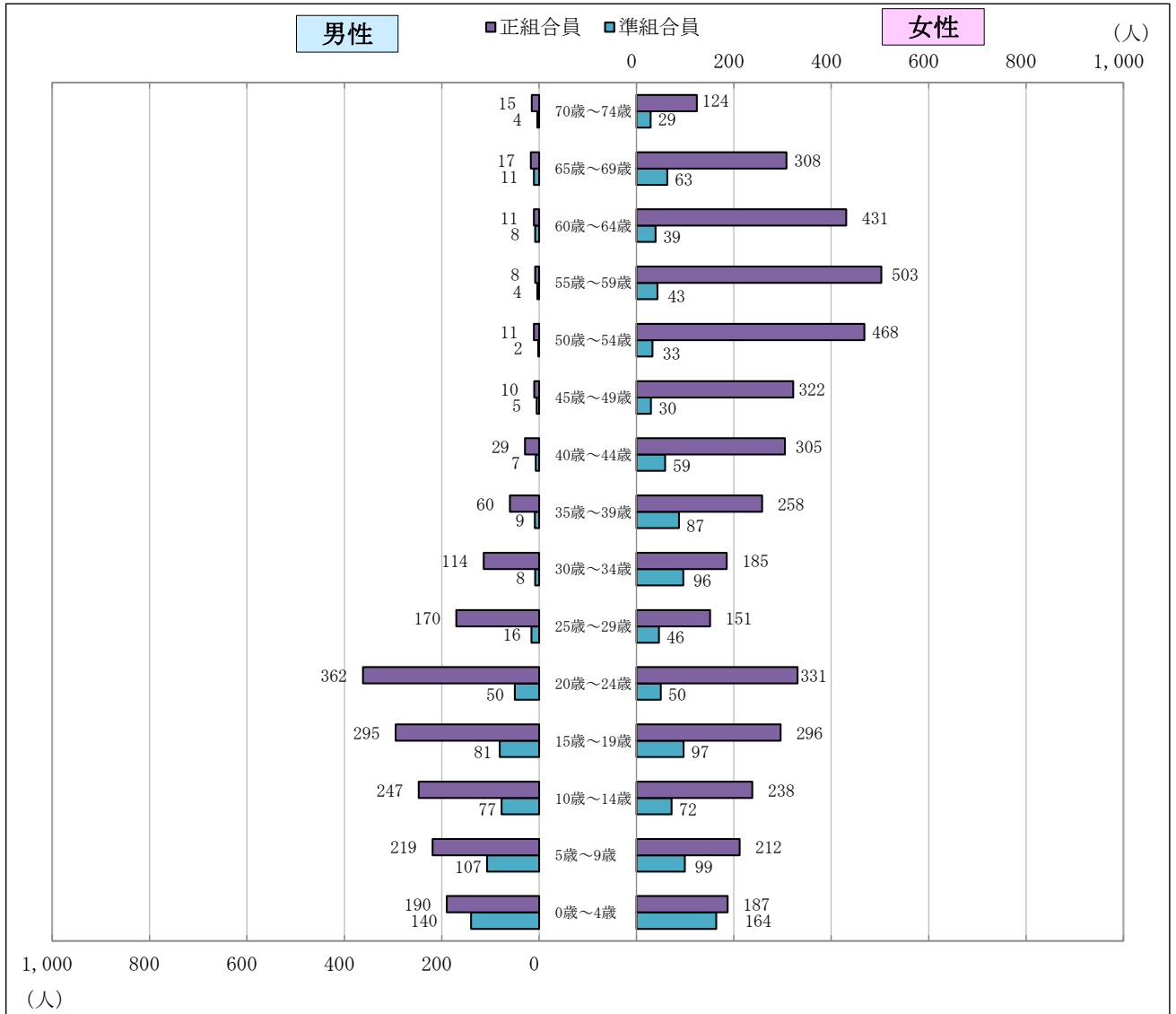
### ③性別年代別の加入状況

性別年代別の加入状況を以下に示す。正組合員は男性、準組合員は女性の割合がそれぞれ高い。年齢階層別では、男性の正組合員数は55歳から69歳が特に多く、女性の準組合員数は20歳から34歳が特に多い。

性別年代別 組合員の加入状況(平成29年4月1日付)



性別年代別 家族の加入状況(平成29年4月1日付)





### (3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

#### ① 特定健康診査

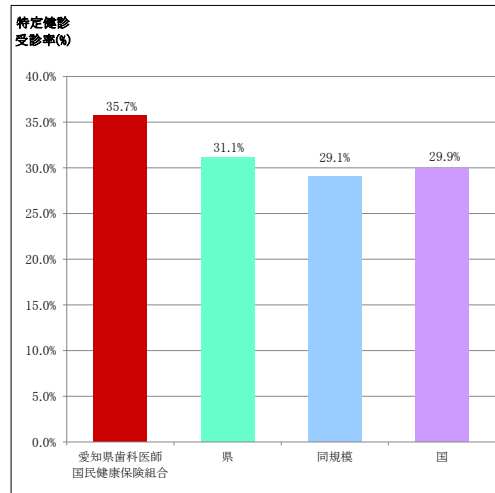
当国保組合の平成28年度における40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
愛知県歯科医師 国民健康保険組合	35.7%
県	31.1%
同規模	29.1%
国	29.9%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」  
愛知県歯科医師国民健康保険組合の数値は以下を参照。  
特定健診・特定保健指導進捗・実績管理表

特定健康診査受診率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」  
愛知県歯科医師国民健康保険組合の数値は以下を参照。  
特定健診・特定保健指導進捗・実績管理表

平成26年度から平成28年度における40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。  
平成28年度の特定健康診査受診率35.7%は平成26年度29.6%より6.1ポイント上昇している。

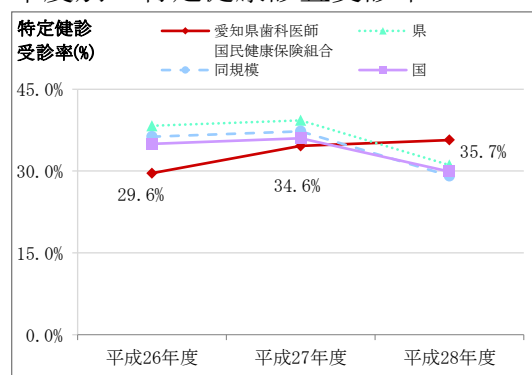
年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
愛知県歯科医師 国民健康保険組合	29.6%	34.6%	35.7%
県	38.3%	39.3%	31.1%
同規模	36.3%	37.3%	29.1%
国	35.0%	36.0%	29.9%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」  
愛知県歯科医師国民健康保険組合の数値は以下を参照。

平成26・27年度：特定健診・特定保健指導実施結果総括表  
平成28年度：特定健診・特定保健指導進捗・実績管理表

年度別 特定健康診査受診率

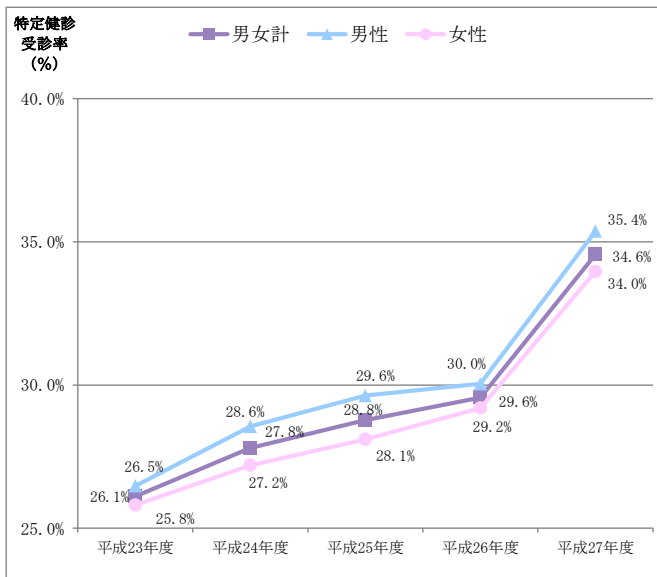


出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」  
愛知県歯科医師国民健康保険組合の数値は以下を参照。

平成26・27年度：特定健診・特定保健指導実施結果総括表  
平成28年度：特定健診・特定保健指導進捗・実績管理表

平成23年度から平成27年度における男女別特定健康診査受診率を年度別に示す。男性の平成27年度受診率35.4%は平成23年度26.5%より8.9ポイント上昇しており、女性の平成27年度受診率34.0%は平成23年度25.8%より8.2ポイント上昇している。

### 年度・男女別 特定健康診査受診率



出典：特定健診・特定保健指導実施結果総括表（平成23年度～平成27年度）

## ②特定保健指導

平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

### 特定保健指導実施状況(平成28年度)

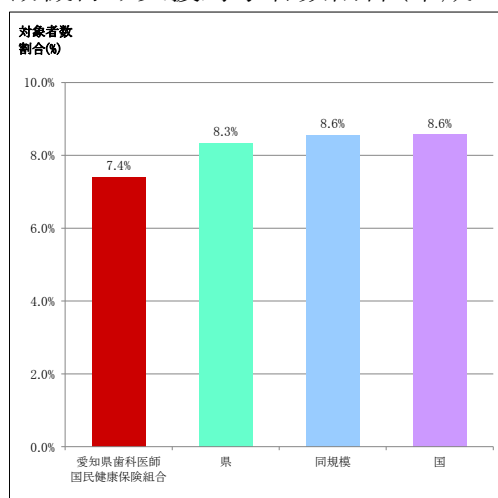
	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
愛知県歯科医師 国民健康保険組合	7.4%	5.6%	13.0%	2.8%
県	8.3%	3.3%	11.6%	1.4%
同規模	8.6%	8.8%	17.4%	0.9%
国	8.6%	3.1%	11.7%	1.4%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

愛知県歯科医師国民健康保険組合の数値は以下を参照。

特定健診・特定保健指導進捗・実績管理表

### 動機付け支援対象者数割合(平成28年度)

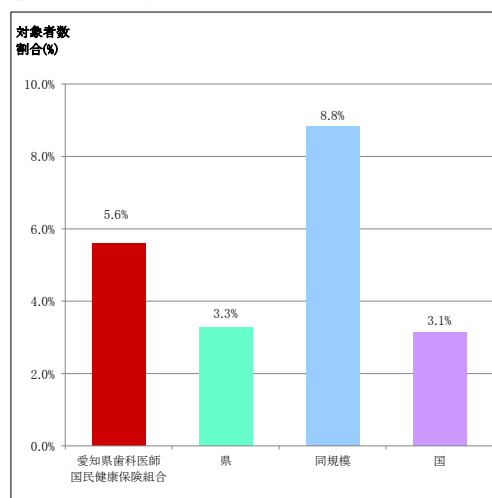


出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

愛知県歯科医師国民健康保険組合の数値は以下を参照。

特定健診・特定保健指導進捗・実績管理表

### 積極的支援対象者数割合(平成28年度)

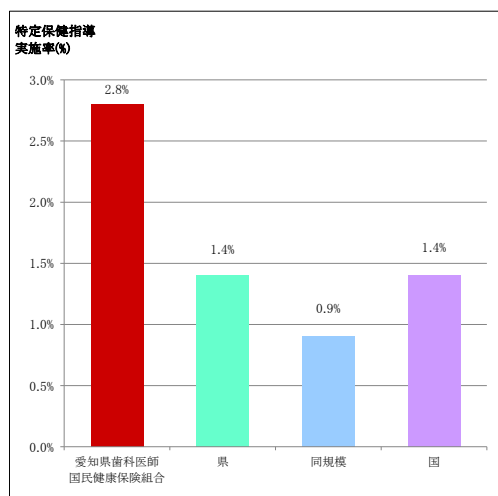


出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

愛知県歯科医師国民健康保険組合の数値は以下を参照。

特定健診・特定保健指導進捗・実績管理表

### 特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

愛知県歯科医師国民健康保険組合の数値は以下を参照。

特定健診・特定保健指導進捗・実績管理表

平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。平成28年度の特典保健指導実施率2.8%は平成26年度2.1%と比べて0.7ポイント上昇している。

### 年度別 特定保健指導実施状況

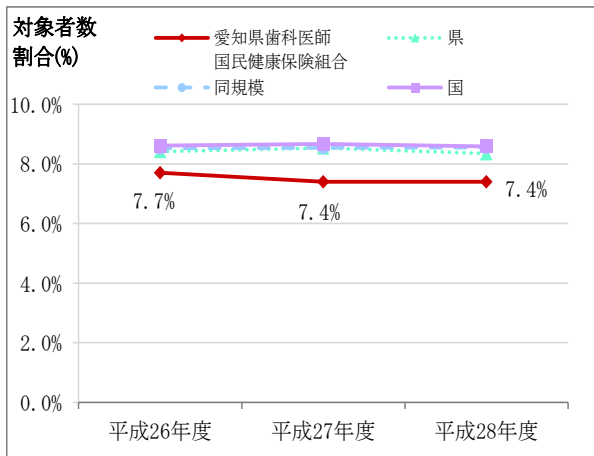
	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
愛知県歯科医師国民健康保険組合	7.7%	7.4%	7.4%	4.8%	5.7%	5.6%	12.5%	13.1%	13.0%	2.1%	2.3%	2.8%
県	8.4%	8.5%	8.3%	3.2%	3.3%	3.3%	11.6%	11.8%	11.6%	13.8%	13.9%	1.4%
同規模	8.5%	8.5%	8.6%	8.7%	8.7%	8.8%	17.2%	17.2%	17.4%	5.0%	5.6%	0.9%
国	8.6%	8.7%	8.6%	3.4%	3.3%	3.1%	12.0%	12.0%	11.7%	19.9%	20.2%	1.4%

出典：国保データベース(KDB)システム 「地域の全体像の把握」

愛知県歯科医師国民健康保険組合の数値は以下を参照。

平成26・27年度：特定健診・特定保健指導実施結果総括表 平成28年度：特定健診・特定保健指導進捗・実績管理表

### 年度別 動機付け支援対象者数割合

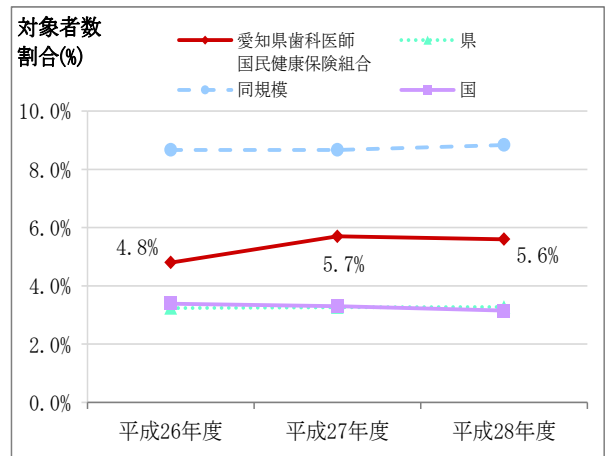


出典：国保データベース(KDB)システム 「地域の全体像の把握」

愛知県歯科医師国民健康保険組合の数値は以下を参照。

平成26・27年度：特定健診・特定保健指導実施結果総括表  
平成28年度：特定健診・特定保健指導進捗・実績管理表

### 年度別 積極的支援対象者数割合

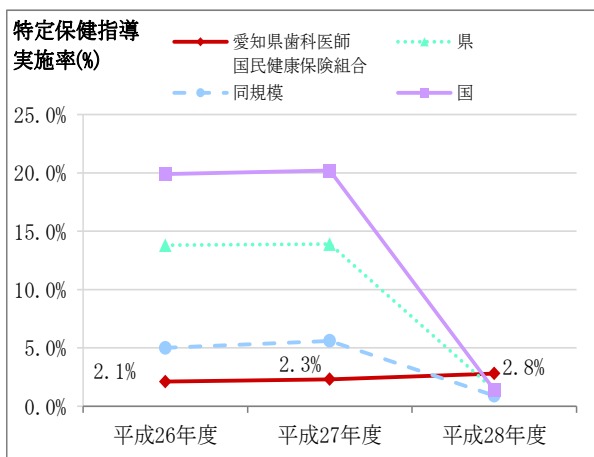


出典：国保データベース(KDB)システム 「地域の全体像の把握」

愛知県歯科医師国民健康保険組合の数値は以下を参照。

平成26・27年度：特定健診・特定保健指導実施結果総括表  
平成28年度：特定健診・特定保健指導進捗・実績管理表

### 年度別 特定保健指導実施率



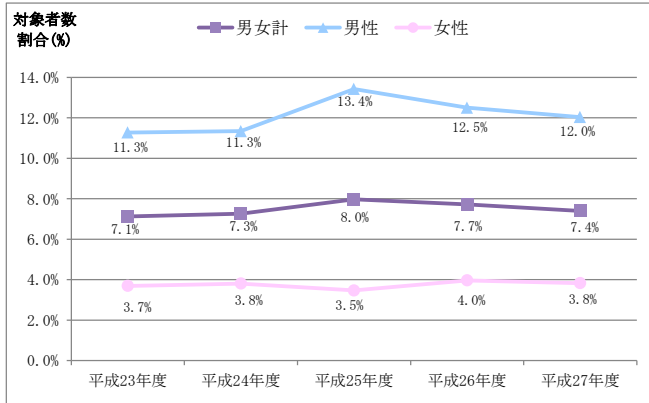
出典：国保データベース(KDB)システム 「地域の全体像の把握」

愛知県歯科医師国民健康保険組合の数値は以下を参照。

平成26・27年度：特定健診・特定保健指導実施結果総括表  
平成28年度：特定健診・特定保健指導進捗・実績管理表

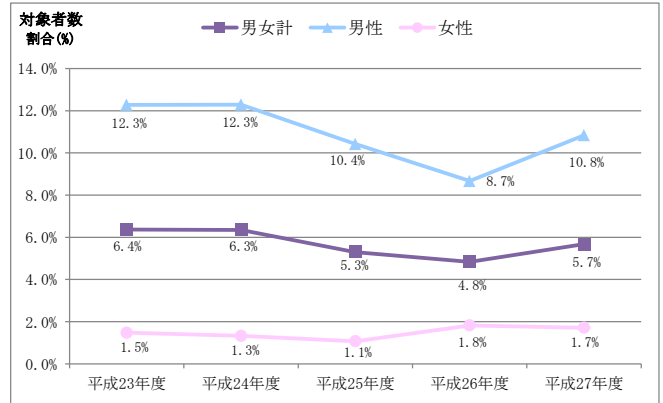
平成23年度から平成27年度における、特定保健指導の支援対象者数割合を年度別に示す。

### 年度・男女別 動機付け支援対象者数割合



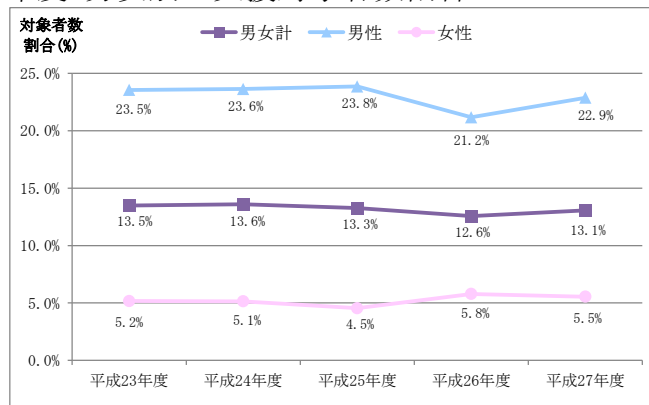
出典: 特定健診・特定保健指導実施結果総括表 (平成23年度～平成27年度)

### 年度・男女別 積極的支援対象者数割合



出典: 特定健診・特定保健指導実施結果総括表 (平成23年度～平成27年度)

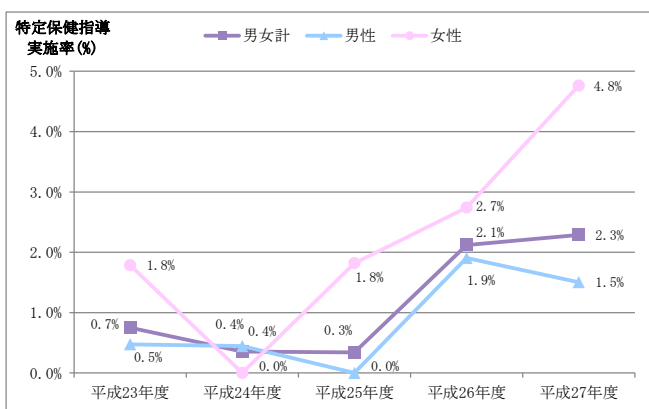
### 年度・男女別 支援対象者数割合



出典: 特定健診・特定保健指導実施結果総括表 (平成23年度～平成27年度)

特定保健指導の実施状況を年度別に示す。男性の平成27年度特定保健指導実施率1.5%は平成23年度0.5%より1.0ポイント上昇しており、女性の平成27年度特定保健指導実施率4.8%は平成23年度1.8%より3.0ポイント上昇している。

### 年度・男女別 特定保健指導実施率



出典: 特定健診・特定保健指導実施結果総括表 (平成23年度～平成27年度)

#### (4) 主たる死因の状況

平成24年度から平成28年度における、主たる死因の状況を以下に示す。

##### 年度別 主たる死因の状況

単位：(人)

主たる死因	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	総計
胃癌	1	6	4	3	1	15
食道癌	3	0	2	0	1	6
肺炎	1	2	1	2	0	6
肺癌	1	0	1	0	3	5
くも膜下出血	0	0	2	1	1	4
不詳の内因死	1	1	0	2	0	4
直腸癌	0	1	1	0	1	3
脳出血	0	0	0	2	1	3
肝細胞癌	0	0	0	2	0	2
急性骨髄性白血病	0	0	0	1	1	2
結腸癌	1	0	1	0	0	2
非ホジキンリンパ腫	0	1	1	0	0	2
不明	1	0	0	0	1	2
うっ血性心不全	0	1	0	0	0	1
悪性リンパ腫	0	0	0	1	0	1
下咽頭扁平上皮癌	0	1	0	0	0	1
肝癌	1	0	0	0	0	1
肝硬変	0	0	0	0	1	1
肝不全	1	0	0	0	0	1
関節リウマチ	0	0	0	0	1	1
急性肝不全	0	0	0	1	0	1
急性循環不全	0	0	1	0	0	1
急性上行大動脈解離	0	1	0	0	0	1
急性心不全	0	0	0	1	0	1
急性汎発性腹膜炎	0	0	1	0	0	1
虚血性心疾患	0	0	0	0	1	1
血栓性微小血管障害(原発性骨髄線維症)	0	0	0	0	1	1
原発性肺腺癌	0	0	1	0	0	1
左外耳道癌	1	0	0	0	0	1
左急性硬膜下血腫	0	0	1	0	0	1
左乳癌	0	1	0	0	0	1
子宮頸癌	0	0	0	0	1	1
出血性ショック(胃潰瘍)	0	0	0	1	0	1
心筋梗塞	0	0	0	1	0	1
心不全	1	0	0	0	0	1
腎盂癌	0	0	0	0	1	1
前立腺癌	0	0	0	0	1	1
窒息(肺炎)	0	0	0	0	1	1
低酸素脳症	0	0	1	0	0	1
溺死	0	0	1	0	0	1
脳幹部(橋)出血	0	1	0	0	0	1
脳幹部出血	0	0	0	1	0	1
脳梗塞	0	0	0	0	1	1
脳腫瘍	1	0	0	0	0	1
敗血症	0	0	0	1	0	1
肺炎(悪性リンパ腫)	0	0	0	1	0	1
肺腺癌	0	0	0	0	1	1
不詳の内因死(肺炎)	0	0	0	1	0	1
慢性腎不全	1	0	0	0	0	1
幽門前庭部癌	0	1	0	0	0	1
卵巣癌	1	0	0	0	0	1
縊死	1	0	0	0	0	1
膝癌	0	1	0	0	0	1
膝臓癌	0	0	0	0	1	1
膝頭部癌	0	0	1	0	0	1
総計	17	18	20	22	21	98

葬祭費の支給申請に添付される死亡診断書から抽出。

## 2. 過去の取り組みの考察

過去の取り組みによる各事業の実施状況を以下に示す。

事業	目的	事業概要	実施状況	
特定健康診査	被保険者の健康状態把握	40歳から74歳の人を対象とし特定健康診査を実施する。	対象者	当該年度4月1日時点で、当国保組合に加入している被保険者
			通知方法	6月に各診療所に通知
			実施場所	集合契約を締結している健診機関
			費用	自己負担なし
			実績	平成28年度受診率 35.7%
特定保健指導	生活習慣病と予備群の改善	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。	対象者	特定健康診査の結果により、特定保健指導の対象となった者
			通知方法	特定健康診査受診後、約3カ月後に個人宛に通知
			実施場所	集合契約を締結している健診機関
			費用	自己負担なし
			実績	平成28年度の実施状況 合計 10人(2.8%) 動機付け支援 7人(3.4%) 積極的支援 3人(1.9%)
人間ドック	被保険者の健康状態把握	組合の指定する医療機関等で人間ドックを受診した場合に補助金を支給する。	対象者	全被保険者 ※40歳以上については特定健康診査併用
			通知方法	4月に「愛歯国保だより」を各診療所に送付
			実施場所	健診機関(県内14機関)
			費用	1人1回10,000円までの補助 年度内に指定の年齢(40歳～70歳の間で5歳刻み)に到達する正組合員には1人10,400円までの特別補助を加算
			実績	平成28年度の受診状況 1,012人(5.2%)
歯科医師国保健診	被保険者の健康状態把握	準組合員を対象に、組合の指定する健康診断を受けた場合に補助金を支給する。	対象者	準組合員
			通知方法	4月に「愛歯国保だより」を各診療所に送付
			実施場所	全ての医療機関
			費用	組合指定の健康診断受診時に1人1回2,500円までの補助
			実績	平成28年度の受診状況 2,114人(25.2%)

### 3. 医療情報分析結果

#### (1) 基礎統計

当医療費統計は、平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均18,243人、レセプト件数は平均15,374件、患者数は平均7,700人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均29,317円となった。

#### 基礎統計

		平成28年1月	平成28年2月	平成28年3月	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	
A	被保険者数(人)	17,276	17,382	17,470	18,152	18,123	18,263	18,428	
B	レセプト件数(件)	入院外	9,554	10,579	11,828	10,024	9,865	10,342	9,845
		入院	137	136	151	146	122	139	129
		調剤	4,707	5,341	5,957	4,966	4,768	4,961	4,727
		合計	14,398	16,056	17,936	15,136	14,755	15,442	14,701
C	医療費(円) ※	218,806,280	218,053,280	273,820,080	234,388,370	204,874,960	224,788,510	217,714,230	
D	患者数(人) ※	7,333	7,987	8,710	7,588	7,485	7,794	7,469	
C/A	被保険者一人当たりの平均医療費(円)	12,665	12,545	15,674	12,913	11,305	12,308	11,814	
C/B	レセプト一件当たりの平均医療費(円)	15,197	13,581	15,267	15,485	13,885	14,557	14,809	
C/D	患者一人当たりの平均医療費(円)	29,839	27,301	31,437	30,889	27,371	28,841	29,149	
B/A	受診率(%)	83.3%	92.4%	102.7%	83.4%	81.4%	84.6%	79.8%	
D/A	有病率(%)	42.4%	45.9%	49.9%	41.8%	41.3%	42.7%	40.5%	

		平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	18,511	18,652	18,772	18,871	19,011	18,243		
B	レセプト件数(件)	入院外	9,360	9,911	10,268	9,964	10,854	10,200	122,394
		入院	151	149	142	130	132	139	1,664
		調剤	4,467	4,885	5,086	5,056	5,511	5,036	60,432
		合計	13,978	14,945	15,496	15,150	16,497	15,374	184,490
C	医療費(円) ※	232,349,380	236,305,890	221,265,480	208,357,100	218,069,650	225,732,768	2,708,793,210	
D	患者数(人) ※	7,158	7,548	7,710	7,549	8,065	7,700	92,396	
C/A	被保険者一人当たりの平均医療費(円)	12,552	12,669	11,787	11,041	11,471	12,374		
C/B	レセプト一件当たりの平均医療費(円)	16,623	15,812	14,279	13,753	13,219	14,683		
C/D	患者一人当たりの平均医療費(円)	32,460	31,307	28,699	27,601	27,039	29,317		
B/A	受診率(%)	75.5%	80.1%	82.5%	80.3%	86.8%	84.3%		
D/A	有病率(%)	38.7%	40.5%	41.1%	40.0%	42.4%	42.2%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。



## (2) 高額レセプトの件数及び要因

### ① 高額レセプトの件数及び割合

発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは平均51件発生しており、レセプト件数全体の0.3%を占める。高額レセプトの医療費は平均5,618万円となり、医療費全体の24.9%を占める。

#### 高額レセプト(5万点以上)の件数及び割合

		平成28年1月	平成28年2月	平成28年3月	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月
A	レセプト件数(件)	14,398	16,056	17,936	15,136	14,755	15,442	14,701
B	高額レセプト件数(件)	45	43	63	59	48	43	49
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%
C	医療費(円) ※	218,806,280	218,053,280	273,820,080	234,388,370	204,874,960	224,788,510	217,714,230
D	高額レセプトの医療費(円) ※	52,177,880	41,525,570	74,919,920	66,617,320	45,029,400	48,717,930	55,621,330
E	その他レセプトの医療費(円) ※	166,628,400	176,527,710	198,900,160	167,771,050	159,845,560	176,070,580	162,092,900
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	23.8%	19.0%	27.4%	28.4%	22.0%	21.7%	25.5%

		平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	13,978	14,945	15,496	15,150	16,497	15,374	184,490
B	高額レセプト件数(件)	64	56	50	45	49	51	614
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.5%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	
C	医療費(円) ※	232,349,380	236,305,890	221,265,480	208,357,100	218,069,650	225,732,768	2,708,793,210
D	高額レセプトの医療費(円) ※	75,647,270	69,124,510	53,784,780	47,294,120	43,648,370	56,175,700	674,108,400
E	その他レセプトの医療費(円) ※	156,702,110	167,181,380	167,480,700	161,062,980	174,421,280	169,557,068	2,034,684,810
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	32.6%	29.3%	24.3%	22.7%	20.0%	24.9%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

## ②高額レセプト発生患者の疾病傾向

高額レセプト発生患者の疾病傾向を以下の通り示した。高額レセプト発生患者の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要疾病名と定義し、対象者の分析期間中の全医療費を入院、入院外で集計した。患者数が多い疾病は、「良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>」「その他の悪性新生物<腫瘍>」「その他の心疾患」等である。

### 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	中分類	中分類名	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人 当たりの医療費 (円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	卵巣腫瘍, 子宮筋腫, 壁内子宮平滑筋腫	40	35,997,170	8,295,170	44,292,340	1,107,309
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 卵巣癌, 前立腺癌骨転移	27	55,980,900	45,970,160	101,951,060	3,775,965
3	0903	その他の心疾患	心房細動, 非弁膜症性心房細動, 肺動脈性肺高血圧症	21	39,366,930	22,732,040	62,098,970	2,957,094
3	1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫早産, 既往帝切後妊娠, 切迫流産	21	19,602,990	1,757,650	21,360,640	1,017,173
5	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 肺腺癌	17	34,538,260	29,425,280	63,963,540	3,762,561
6	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房上内側部乳癌, 乳房上外側部乳癌	16	16,935,200	17,786,760	34,721,960	2,170,123
6	1113	その他の消化器系の疾患	外単径ヘルニア, S状結腸穿孔, 潰瘍性大腸炎	16	16,116,820	8,279,260	24,396,080	1,524,755
8	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 不安定狭心症, 急性前壁中隔心筋梗塞	15	37,340,700	4,744,750	42,085,450	2,805,697
9	1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症, 総胆管結石, 胆石性胆のう炎	10	6,404,640	1,622,970	8,027,610	802,761
9	1901	骨折	脛骨骨幹部骨折, 大腿骨頸部骨折, 頸椎多発骨折	10	14,251,400	3,024,760	17,276,160	1,727,616
11	0606	その他の神経系の疾患	抗NMDA受容体脳炎, ギラン・バレー症候群, 水頭症	9	37,434,190	1,865,050	39,299,240	4,366,582
11	1302	関節症	変形性股関節症, 変形性膝関節症, 両側性形成不全性股関節症	9	19,241,970	2,235,010	21,476,980	2,386,331
13	0906	脳梗塞	脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞・急性期, アテローム血栓性脳梗塞	8	26,212,970	3,210,720	29,423,690	3,677,961
13	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	8	16,350,530	37,425,670	53,776,200	6,722,025
15	0704	その他の眼及び付属器の疾患	網膜剥離, 増殖性硝子体網膜症, 黄斑円孔	7	8,332,220	1,542,970	9,875,190	1,410,741
15	1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	チョコレート卵巣, 子宮腺筋症, 子宮頸部上皮内腫瘍	7	5,514,070	1,372,110	6,886,180	983,740
15	1602	その他の周産期に発生した病態	新生児一過性多呼吸, 新生児気胸, 胎児胎盤機能低下	7	7,067,590	1,519,890	8,587,480	1,226,783
18	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 上行結腸癌	6	8,893,120	4,989,670	13,882,790	2,313,798
18	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 妄想型統合失調症	6	7,336,430	2,582,350	9,918,780	1,653,130
18	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	前十字靭帯損傷, 半月板損傷, 内側半月板損傷	6	5,228,460	1,304,690	6,533,150	1,088,858

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たりの医療費。

### (3) 疾病別医療費

#### ① 大分類による疾病別医療費統計

疾病項目毎に医療費総計、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の14.8%、「呼吸器系の疾患」は医療費合計の11.6%と高い割合を占めている。

#### 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト 件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	117,679,183	4.4%	10	17,995	8	6,067	4	19,397	17
II. 新生物<腫瘍>	398,902,600	14.8%	1	10,650	11	3,586	9	111,239	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	56,805,628	2.1%	14	3,574	16	1,230	15	46,183	8
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	250,648,667	9.3%	4	32,590	3	5,108	6	49,070	7
V. 精神及び行動の障害	81,682,850	3.0%	12	9,243	13	1,226	16	66,625	5
VI. 神経系の疾患	102,638,993	3.8%	11	13,759	10	2,022	14	50,761	6
VII. 眼及び付属器の疾患	136,342,497	5.1%	9	22,010	6	7,849	2	17,371	18
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	29,792,140	1.1%	17	7,085	14	2,104	13	14,160	19
IX. 循環器系の疾患	298,158,885	11.1%	3	26,376	5	3,170	11	94,056	3
X. 呼吸器系の疾患	312,425,283	11.6%	2	52,424	1	10,860	1	28,768	13
X I. 消化器系の疾患 ※	194,440,522	7.2%	5	28,647	4	6,042	5	32,181	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	149,308,792	5.5%	8	35,035	2	7,389	3	20,207	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	176,272,855	6.5%	7	20,545	7	4,211	8	41,860	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	184,398,453	6.8%	6	16,394	9	4,280	7	43,084	9
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	47,420,821	1.8%	15	1,575	18	634	17	74,796	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	19,428,910	0.7%	18	164	21	100	21	194,289	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	7,275,114	0.3%	20	788	20	289	19	25,173	15
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	38,101,191	1.4%	16	10,280	12	3,513	10	10,846	20
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	78,852,271	2.9%	13	7,068	15	2,721	12	28,979	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8,022,365	0.3%	19	1,535	19	286	20	28,050	14
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	5,828,210	0.2%	21	2,013	17	591	18	9,862	21
合計	2,694,426,230			183,191		18,264		147,527	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

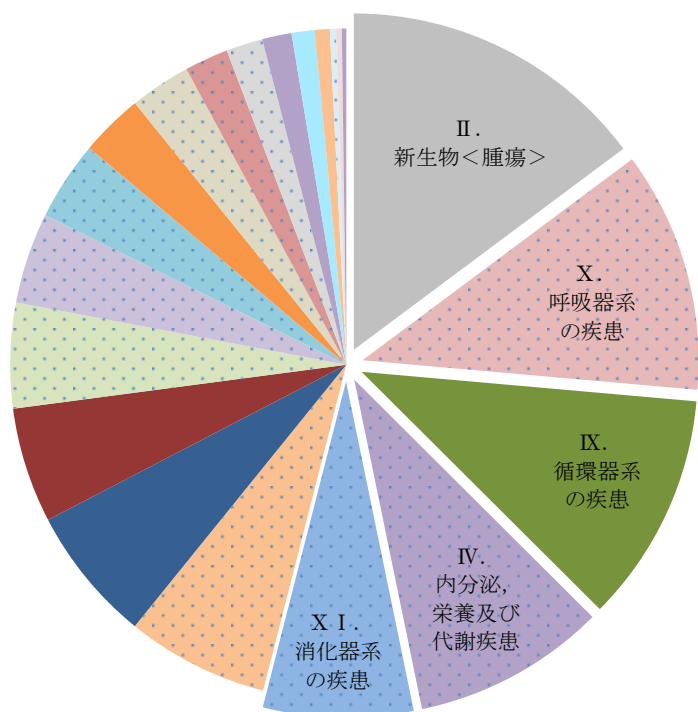
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「新生物<腫瘍>」「呼吸器系の疾患」「循環器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「消化器系の疾患」の医療費で過半数を占める。

## 疾病項目別医療費割合



- II. 新生物<腫瘍>
- X. 呼吸器系の疾患
- IX. 循環器系の疾患
- IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
- XI. 消化器系の疾患
- XIV. 腎尿路生殖器系の疾患
- XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
- XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
- VII. 眼及び付属器の疾患
- I. 感染症及び寄生虫症
- VI. 神経系の疾患
- V. 精神及び行動の障害
- XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- XV. 妊娠、分娩及び産じょく
- XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- VIII. 耳及び乳様突起の疾患
- XVI. 周産期に発生した病態
- XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常
- XXII. 特殊目的用コード
- 分類外

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

## ②中分類による疾病別医療費統計

疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

### 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数 (人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	118,407,437	4.4%	953
2	1113	その他の消化器系の疾患	115,899,930	4.3%	3,324
3	0901	高血圧性疾患	93,909,132	3.5%	1,768
4	0402	糖尿病	83,278,738	3.1%	1,950
5	0903	その他の心疾患	83,094,423	3.1%	1,167
6	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	82,482,489	3.1%	2,257
7	1006	アレルギー性鼻炎	76,514,483	2.8%	5,655
8	0403	脂質異常症	72,378,034	2.7%	1,795
9	0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	72,215,216	2.7%	2,562
10	1202	皮膚炎及び湿疹	71,773,000	2.7%	5,176

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円)	患者数 (人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0703	屈折及び調節の障害	30,370,631	6,463	35.4%
2	1006	アレルギー性鼻炎	76,514,483	5,655	31.0%
3	1003	その他の急性上気道感染症	43,700,399	5,369	29.4%
4	1202	皮膚炎及び湿疹	71,773,000	5,176	28.3%
5	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	70,944,416	4,664	25.5%
6	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	31,830,747	4,569	25.0%
7	1011	その他の呼吸器系の疾患	45,779,421	3,876	21.2%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	70,370,394	3,667	20.1%
9	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	38,101,191	3,513	19.2%
10	0701	結膜炎	21,844,998	3,385	18.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	中分類疾病項目		医療費 (円) ※	患者数 (人)	患者一人当たりの 医療費(円)
1	0209	白血病	20,135,419	12	1,677,952
2	1402	腎不全	60,687,947	113	537,061
3	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	14,584,285	32	455,759
4	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	60,452,717	210	287,870
5	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	42,791,919	187	228,834
6	0601	パーキンソン病	8,882,622	40	222,066
7	1602	その他の周産期に発生した病態	12,009,272	66	181,959
8	0602	アルツハイマー病	3,585,489	21	170,738
9	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	7,419,638	44	168,628
10	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	19,379,135	129	150,226

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

#### (4) 生活習慣病に係る分析

生活習慣病の医療費及び患者数を以下に示す。生活習慣病医療費は2億4,957万円であり、その内訳は糖尿病医療費8,328万円、脂質異常症医療費7,238万円、高血圧性疾患医療費9,391万円である。また、生活習慣病患者数は3,430人であり、そのうち糖尿病患者は1,950人、脂質異常症患者は1,795人、高血圧性疾患患者は1,768人である。

#### 被保険者数及び総医療費

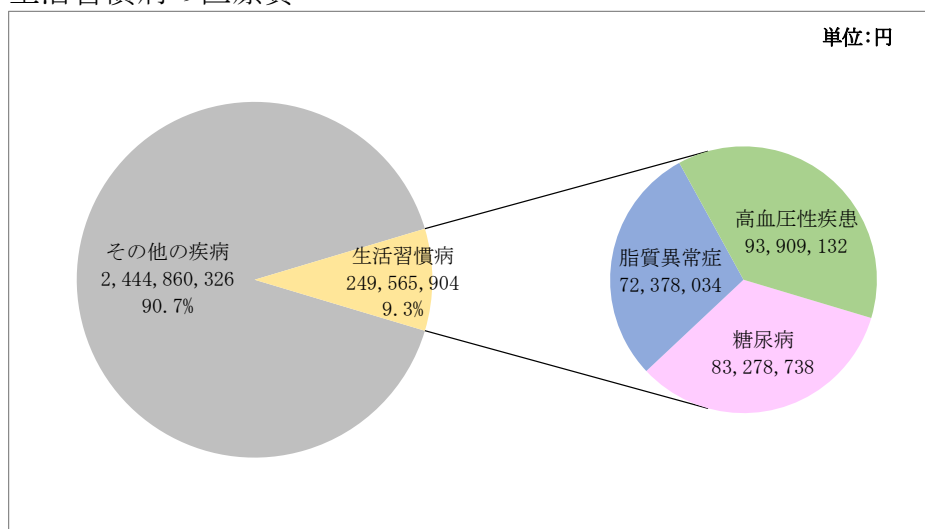
総合計	A	B
	被保険者数 (人) ※	総医療費 (円) ※
	19,011	2,694,426,230

#### 生活習慣病の医療費統計

疾病項目(中分類)	C	C/B	D	D/A	C/D
	医療費 (円) ※	構成比 (%)	患者数 (人) ※	有病率 (%) ※	患者一人 当たりの 医療費 (円)
生活習慣病	249,565,904	9.3%	3,430	18.0%	72,760
糖尿病	83,278,738	3.1%	1,950	10.3%	42,707
脂質異常症	72,378,034	2.7%	1,795	9.4%	40,322
高血圧性疾患	93,909,132	3.5%	1,768	9.3%	53,116

※複数の疾病を併せ持つ患者がいるため、3疾病の患者数合計と生活習慣病患者数は一致しない。

#### 生活習慣病の医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

※被保険者数…平成28年12月において1日でも資格がある者を分析対象として算出している。

※総医療費…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。

※医療費…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。

※患者数…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。

※有病率…被保険者のうち、患者が占める割合。

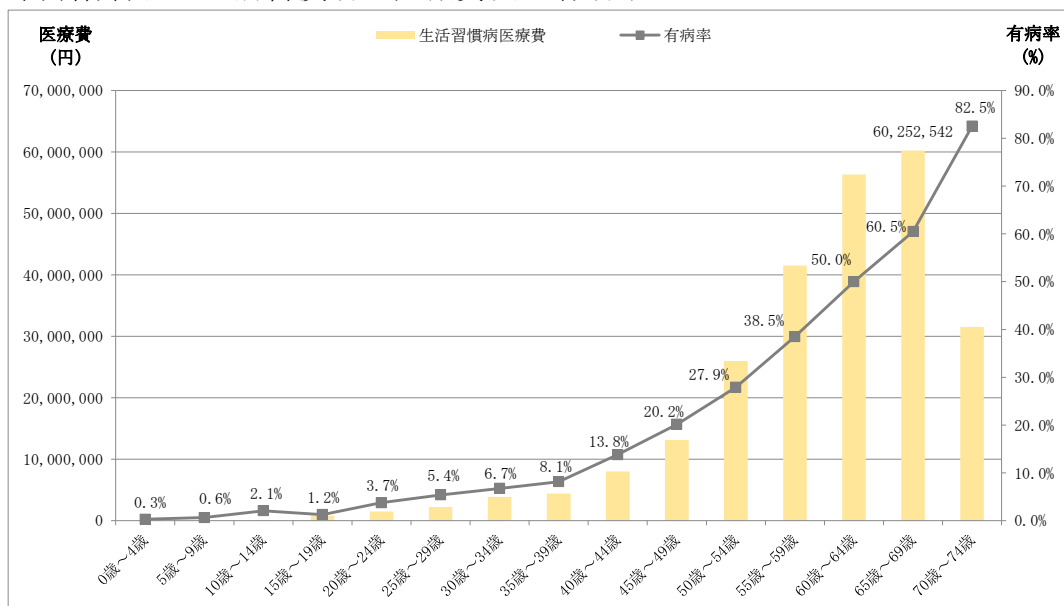
生活習慣病…糖尿病(中分類0402)、脂質異常症(中分類0403)、高血圧性疾患(中分類0901)の3疾病とする。

生活習慣病の医療費及び患者数について、年齢階層別に示す。生活習慣病医療費が高い年齢層は65歳～69歳で6,025万円、患者数が多い年齢層は60歳～64歳で619人、有病率が高い年齢層は70歳～74歳で82.5%である。

### 年齢階層別 生活習慣病の医療費統計

年齢階層	A 被保険者数 (人) ※	B 総医療費 (円) ※	C 生活習慣病 医療費 (円) ※	C/B 構成比 (%)	D 生活習慣病 患者数 (人) ※	D/A 有病率 (%) ※	C/D 患者一人 当たりの 医療費 (円)
0歳～4歳	698	126,293,100	1,353	0.0%	2	0.3%	677
5歳～9歳	636	66,138,370	8,908	0.0%	4	0.6%	2,227
10歳～14歳	632	69,251,500	69,965	0.1%	13	2.1%	5,382
15歳～19歳	884	52,916,400	801,159	1.5%	11	1.2%	72,833
20歳～24歳	2,643	155,133,470	1,489,360	1.0%	99	3.7%	15,044
25歳～29歳	2,414	187,691,320	2,211,602	1.2%	130	5.4%	17,012
30歳～34歳	1,664	164,948,830	3,871,719	2.3%	112	6.7%	34,569
35歳～39歳	1,363	124,419,070	4,411,212	3.5%	111	8.1%	39,741
40歳～44歳	1,334	163,470,240	7,980,446	4.9%	184	13.8%	43,372
45歳～49歳	1,315	188,949,840	13,134,713	7.0%	265	20.2%	49,565
50歳～54歳	1,337	204,914,490	25,966,146	12.7%	373	27.9%	69,614
55歳～59歳	1,415	274,204,850	41,520,462	15.1%	545	38.5%	76,184
60歳～64歳	1,238	359,235,410	56,336,186	15.7%	619	50.0%	91,012
65歳～69歳	1,020	335,271,510	60,252,542	18.0%	617	60.5%	97,654
70歳～74歳	418	221,587,830	31,510,131	14.2%	345	82.5%	91,334
全体	19,011	2,694,426,230	249,565,904	9.3%	3,430	18.0%	72,760

### 年齢階層別 生活習慣病の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

※被保険者数…平成28年12月において1日でも資格がある者を分析対象として算出している。

※総医療費…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。

※生活習慣病医療費…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。

※生活習慣病患者数…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。

※有病率…被保険者のうち、生活習慣病患者が占める割合。

生活習慣病…糖尿病(中分類0402)、脂質異常症(中分類0403)、高血圧性疾患(中分類0901)の3疾病とする。

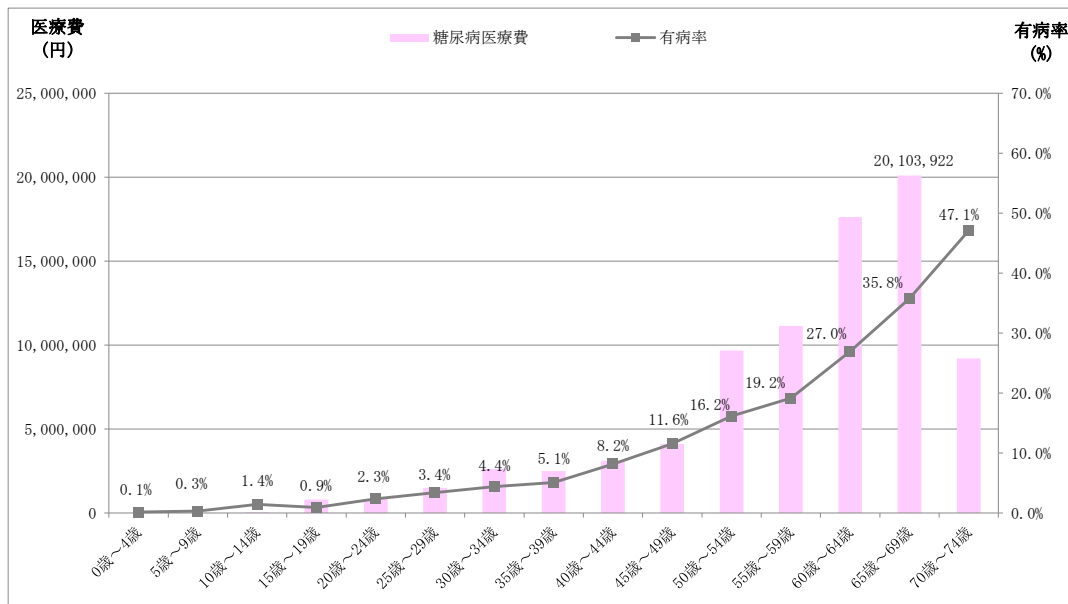


次に疾病別の医療費及び患者数について、年齢階層別に示す。糖尿病の医療費が高い年齢層は65歳～69歳で2,010万円、患者数が多い年齢層は65歳～69歳で365人、有病率が高い年齢層は70歳～74歳で47.1%である。

### 年齢階層別 糖尿病の医療費統計

年齢階層	A 被保険者数 (人) ※	B 総医療費 (円) ※	C 糖尿病 医療費 (円) ※	C/B 構成比 (%)	D 糖尿病 患者数 (人) ※	D/A 有病率 (%) ※	C/D 患者一人 当たりの 医療費 (円)
0歳～4歳	698	126,293,100	881	0.0%	1	0.1%	881
5歳～9歳	636	66,138,370	5,479	0.0%	2	0.3%	2,740
10歳～14歳	632	69,251,500	40,038	0.1%	9	1.4%	4,449
15歳～19歳	884	52,916,400	796,742	1.5%	8	0.9%	99,593
20歳～24歳	2,643	155,133,470	823,613	0.5%	62	2.3%	13,284
25歳～29歳	2,414	187,691,320	1,502,497	0.8%	82	3.4%	18,323
30歳～34歳	1,664	164,948,830	2,623,396	1.6%	73	4.4%	35,937
35歳～39歳	1,363	124,419,070	2,494,233	2.0%	69	5.1%	36,148
40歳～44歳	1,334	163,470,240	3,112,378	1.9%	109	8.2%	28,554
45歳～49歳	1,315	188,949,840	4,115,697	2.2%	152	11.6%	27,077
50歳～54歳	1,337	204,914,490	9,678,577	4.7%	216	16.2%	44,808
55歳～59歳	1,415	274,204,850	11,142,901	4.1%	271	19.2%	41,118
60歳～64歳	1,238	359,235,410	17,636,655	4.9%	334	27.0%	52,804
65歳～69歳	1,020	335,271,510	20,103,922	6.0%	365	35.8%	55,079
70歳～74歳	418	221,587,830	9,201,729	4.2%	197	47.1%	46,709
全体	19,011	2,694,426,230	83,278,738	3.1%	1,950	10.3%	42,707

### 年齢階層別 糖尿病の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

※被保険者数…平成28年12月において1日でも資格がある者を分析対象として算出している。

※総医療費…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。

※糖尿病医療費…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。

※糖尿病患者数…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。

※有病率…被保険者のうち、糖尿病患者が占める割合。

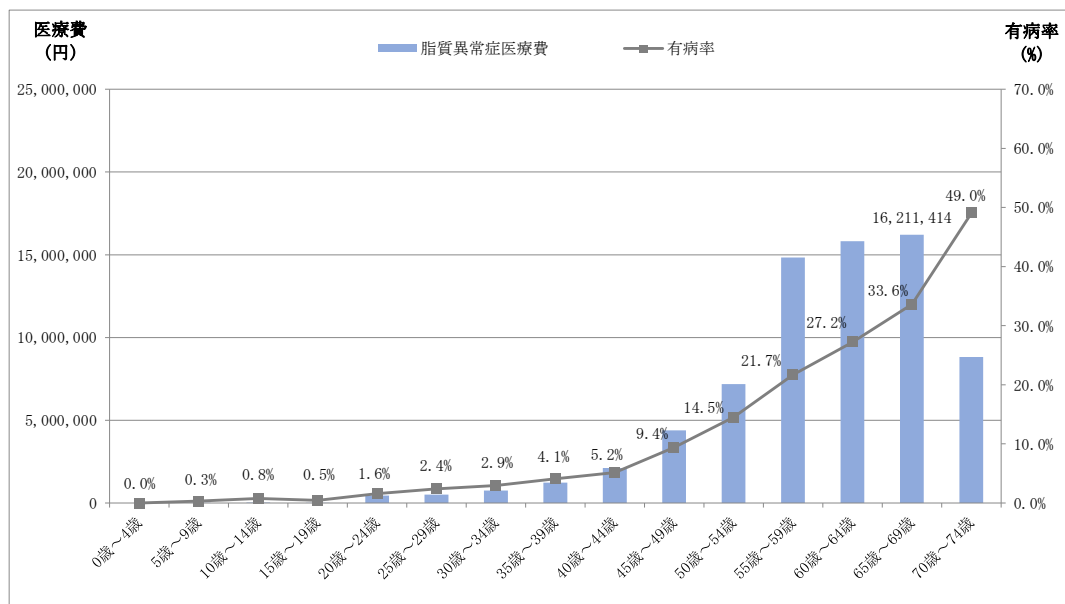
糖尿病…中分類0402

脂質異常症の医療費が高い年齢層は65歳～69歳で1,621万円、患者数が多い年齢層は65歳～69歳で343人、有病率が高い年齢層は70歳～74歳で49.0%である。

### 年齢階層別 脂質異常症の医療費統計

年齢階層	A 被保険者数 (人) ※	B 総医療費 (円) ※	C 脂質異常症 医療費 (円) ※	C/B 構成比 (%)	D 脂質異常症 患者数 (人) ※	D/A 有病率 (%) ※	C/D 患者一人 当たりの 医療費 (円)
0歳～4歳	698	126,293,100	0	0.0%	0	0.0%	0
5歳～9歳	636	66,138,370	2,159	0.0%	2	0.3%	1,080
10歳～14歳	632	69,251,500	29,927	0.0%	5	0.8%	5,985
15歳～19歳	884	52,916,400	4,417	0.0%	4	0.5%	1,104
20歳～24歳	2,643	155,133,470	450,099	0.3%	42	1.6%	10,717
25歳～29歳	2,414	187,691,320	512,169	0.3%	58	2.4%	8,831
30歳～34歳	1,664	164,948,830	755,873	0.5%	49	2.9%	15,426
35歳～39歳	1,363	124,419,070	1,225,124	1.0%	56	4.1%	21,877
40歳～44歳	1,334	163,470,240	2,122,296	1.3%	69	5.2%	30,758
45歳～49歳	1,315	188,949,840	4,392,544	2.3%	124	9.4%	35,424
50歳～54歳	1,337	204,914,490	7,191,142	3.5%	194	14.5%	37,068
55歳～59歳	1,415	274,204,850	14,835,250	5.4%	307	21.7%	48,323
60歳～64歳	1,238	359,235,410	15,826,147	4.4%	337	27.2%	46,962
65歳～69歳	1,020	335,271,510	16,211,414	4.8%	343	33.6%	47,264
70歳～74歳	418	221,587,830	8,819,473	4.0%	205	49.0%	43,022
全体	19,011	2,694,426,230	72,378,034	2.7%	1,795	9.4%	40,322

### 年齢階層別 脂質異常症の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

※被保険者数…平成28年12月において1日でも資格がある者を分析対象として算出している。

※総医療費…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。

※脂質異常症医療費…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。

※脂質異常症患者数…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。

※有病率…被保険者のうち、脂質異常症患者が占める割合。

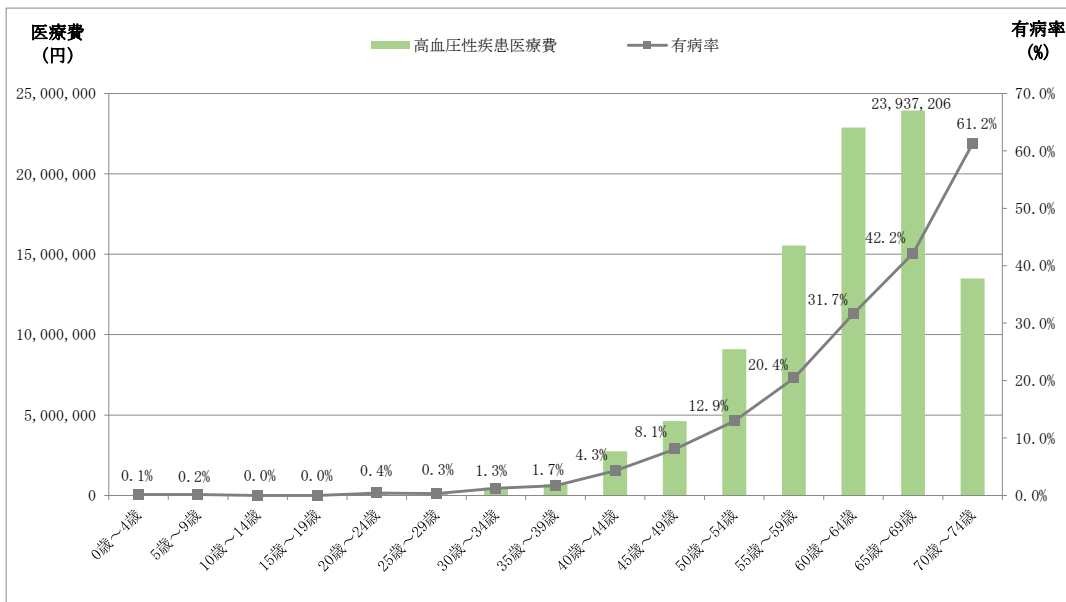
脂質異常症…中分類0403

高血圧性疾患の医療費が高い年齢層は65歳～69歳で2,394万円、患者数が多い年齢層は65歳～69歳で430人、有病率が高い年齢層は70歳～74歳で61.2%である。

### 年齢階層別 高血圧性疾患の医療費統計

年齢階層	A 被保険者数 (人) ※	B 総医療費 (円) ※	C 高血圧性疾患 医療費 (円) ※	C/B 構成比 (%)	D 高血圧性疾患 患者数 (人) ※	D/A 有病率 (%) ※	C/D 患者一人 当たりの 医療費 (円)
0歳～4歳	698	126,293,100	472	0.0%	1	0.1%	472
5歳～9歳	636	66,138,370	1,270	0.0%	1	0.2%	1,270
10歳～14歳	632	69,251,500	0	0.0%	0	0.0%	0
15歳～19歳	884	52,916,400	0	0.0%	0	0.0%	0
20歳～24歳	2,643	155,133,470	215,648	0.1%	11	0.4%	19,604
25歳～29歳	2,414	187,691,320	196,936	0.1%	8	0.3%	24,617
30歳～34歳	1,664	164,948,830	492,450	0.3%	21	1.3%	23,450
35歳～39歳	1,363	124,419,070	691,855	0.6%	23	1.7%	30,081
40歳～44歳	1,334	163,470,240	2,745,772	1.7%	57	4.3%	48,171
45歳～49歳	1,315	188,949,840	4,626,472	2.4%	106	8.1%	43,646
50歳～54歳	1,337	204,914,490	9,096,427	4.4%	173	12.9%	52,581
55歳～59歳	1,415	274,204,850	15,542,311	5.7%	289	20.4%	53,780
60歳～64歳	1,238	359,235,410	22,873,384	6.4%	392	31.7%	58,350
65歳～69歳	1,020	335,271,510	23,937,206	7.1%	430	42.2%	55,668
70歳～74歳	418	221,587,830	13,488,929	6.1%	256	61.2%	52,691
全体	19,011	2,694,426,230	93,909,132	3.5%	1,768	9.3%	53,116

### 年齢階層別 高血圧性疾患の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

- ※被保険者数…平成28年12月において1日でも資格がある者を分析対象として算出している。
- ※総医療費…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。
- ※高血圧性疾患医療費…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。
- ※高血圧性疾患患者数…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。
- ※有病率…被保険者のうち、高血圧性疾患患者が占める割合。

高血圧性疾患…中分類0901

## (5) がん(悪性新生物)に係る分析

がん(悪性新生物)の医療費及び患者数を以下に示す。最も医療費が高いがんは肺がんで6,045万円、最も患者数が多いがんは大腸がんで450人である。

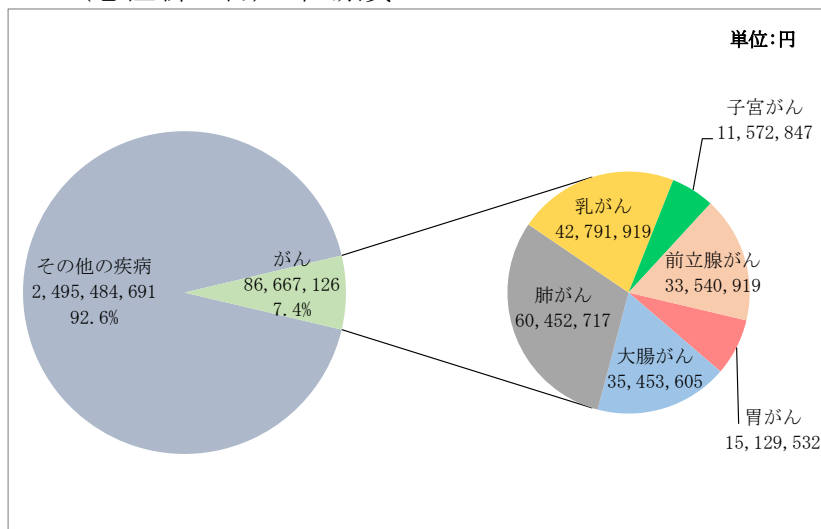
### 被保険者数及び総医療費

総合計	A	B
	被保険者数 (人) ※	総医療費 (円) ※
	19,011	2,694,426,230

### がん(悪性新生物)の医療費統計

疾病項目(中分類)	C	C/B	D	D/A	C/D
	医療費 (円) ※	構成比 (%)	患者数 (人) ※	有病率 (%) ※	患者一人 当たりの 医療費 (円)
胃がん	15,129,532	0.6%	344	1.8%	43,981
大腸がん	35,453,605	1.3%	450	2.4%	78,786
肺がん	60,452,717	2.2%	210	1.1%	287,870
乳がん	42,791,919	1.6%	187	1.0%	228,834
子宮がん	11,572,847	0.4%	387	2.0%	29,904
前立腺がん	33,540,919	1.2%	268	1.4%	125,153
合計	198,941,539	7.4%	1,556	8.2%	127,854

### がん(悪性新生物)の医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

※被保険者数…平成28年12月において1日でも資格がある者を分析対象として算出している。

※総医療費…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。

※医療費…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。疑い病名を含む。

※患者数…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。複数の疾病を併せ持つ患者がいるため、患者数の合計は、がんの種類別患者数の合算値と一致しない。疑い病名を含む。

※有病率…被保険者のうち、がん患者が占める割合。

胃がん…中分類「0201胃の悪性新生物<腫瘍>」

大腸がん…中分類「0202結腸の悪性新生物<腫瘍>」、「0203直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>」

肺がん…中分類「0205気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」

乳がん…中分類「0206乳房の悪性新生物<腫瘍>」

子宮がん…中分類「0207子宮の悪性新生物<腫瘍>」

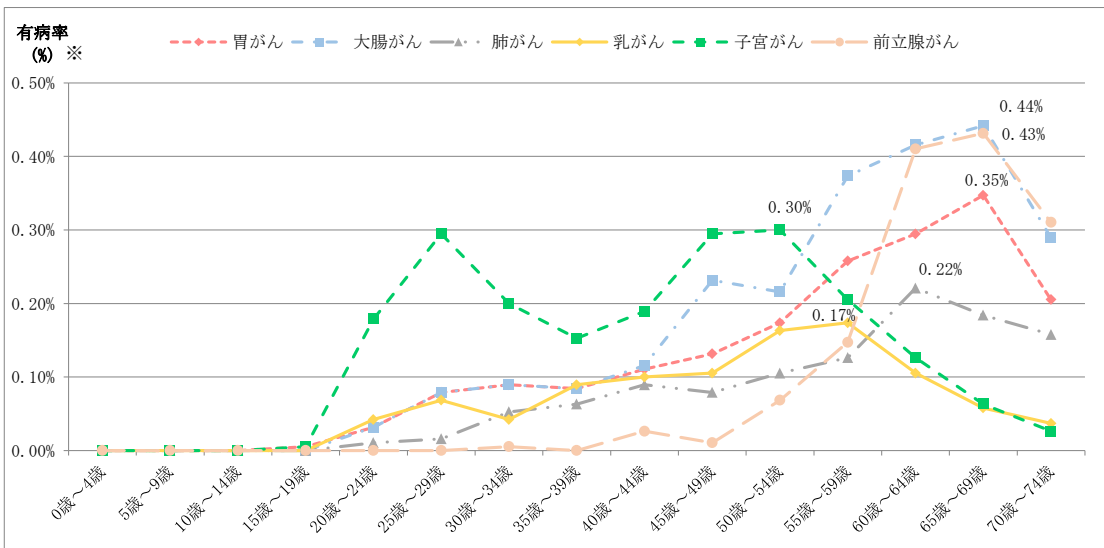
前立腺がん…ICD10コード「C61前立腺の悪性新生物」

がん(悪性新生物)の罹患状況を年齢階層別に示す。55歳以上で胃がん、大腸がん、前立腺がんの患者数は特に増加しており、いずれも65歳～69歳の年齢層において最も有病率が高くなっている。

### 年齢階層別 がん(悪性新生物)の患者数

	がん(悪性新生物) 患者数(人) ※					
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん	前立腺がん
0歳～4歳	0	0	0	0	0	0
5歳～9歳	0	0	0	0	0	0
10歳～14歳	0	0	0	0	0	0
15歳～19歳	1	0	0	0	1	0
20歳～24歳	6	6	2	8	34	0
25歳～29歳	15	15	3	13	56	0
30歳～34歳	17	17	10	8	38	1
35歳～39歳	16	16	12	17	29	0
40歳～44歳	21	22	17	19	36	5
45歳～49歳	25	44	15	20	56	2
50歳～54歳	33	41	20	31	57	13
55歳～59歳	49	71	24	33	39	28
60歳～64歳	56	79	42	20	24	78
65歳～69歳	66	84	35	11	12	82
70歳～74歳	39	55	30	7	5	59
全体	344	450	210	187	387	268

### 年齢階層別 がん(悪性新生物)の有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
 対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。  
 ※患者数…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。  
 ※有病率…平成28年12月において1日でも資格がある被保険者のうち、がん患者が占める割合。

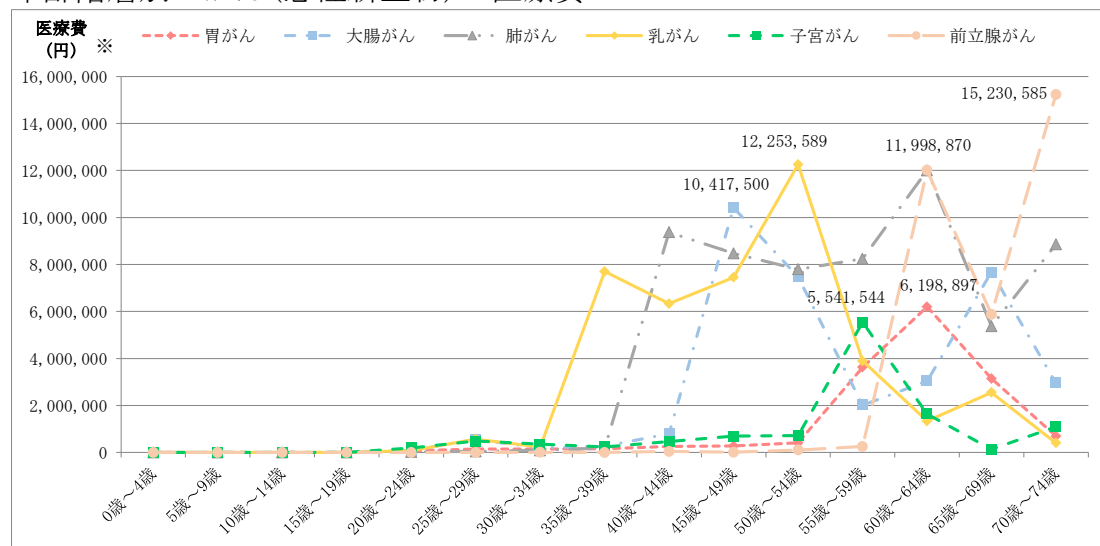
胃がん…中分類「0201胃の悪性新生物<腫瘍>」  
 大腸がん…中分類「0202結腸の悪性新生物<腫瘍>」、「0203直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>」  
 肺がん…中分類「0205気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」  
 乳がん…中分類「0206乳房の悪性新生物<腫瘍>」  
 子宮がん…中分類「0207子宮の悪性新生物<腫瘍>」  
 前立腺がん… ICD10コード「C61前立腺の悪性新生物」

がん(悪性新生物)の医療費を年齢階層別に示す。乳がんは比較的若い年齢層である35歳～54歳の医療費が高く、大腸がんは45歳～49歳が特に高い。前立腺がんは60歳以降の医療費が高く、70歳～74歳において最も高い。

### 年齢階層別 がん(悪性新生物)の医療費

	がん(悪性新生物) 医療費(円) ※					
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん	前立腺がん
0歳～4歳	0	0	0	0	0	0
5歳～9歳	0	0	0	0	0	0
10歳～14歳	0	0	0	0	0	0
15歳～19歳	3,837	0	0	0	4,606	0
20歳～24歳	71,503	80,887	23,837	78,011	195,323	0
25歳～29歳	148,955	555,309	44,891	560,343	486,940	0
30歳～34歳	143,074	187,627	90,483	232,760	353,907	6,591
35歳～39歳	156,890	263,087	190,355	7,699,886	231,676	0
40歳～44歳	259,150	796,054	9,371,304	6,329,302	470,647	43,044
45歳～49歳	276,704	10,417,500	8,472,419	7,450,896	697,328	10,895
50歳～54歳	407,097	7,470,262	7,791,979	12,253,589	723,100	104,515
55歳～59歳	3,622,616	2,015,612	8,239,150	3,892,362	5,541,544	256,725
60歳～64歳	6,198,897	3,040,731	11,998,870	1,337,715	1,637,073	12,007,606
65歳～69歳	3,146,498	7,675,790	5,369,989	2,556,480	138,548	5,880,958
70歳～74歳	694,311	2,950,746	8,859,440	400,575	1,092,155	15,230,585
全体	15,129,532	35,453,605	60,452,717	42,791,919	11,572,847	33,540,919

### 年齢階層別 がん(悪性新生物)の医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

※医療費…各月、1日でも資格がある者を分析対象として算出している。疑い病名を含む。

胃がん…中分類「0201胃の悪性新生物」

大腸がん…中分類「0202結腸の悪性新生物」、「0203直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物」

肺がん…中分類「0205気管、気管支及び肺の悪性新生物」

乳がん…中分類「0206乳房の悪性新生物」

子宮がん…中分類「0207子宮の悪性新生物」

前立腺がん… ICD10コード「C61前立腺の悪性新生物」

## 4. 特定健康診査・特定保健指導に係る分析結果

### (1) 特定健康診査に係る分析

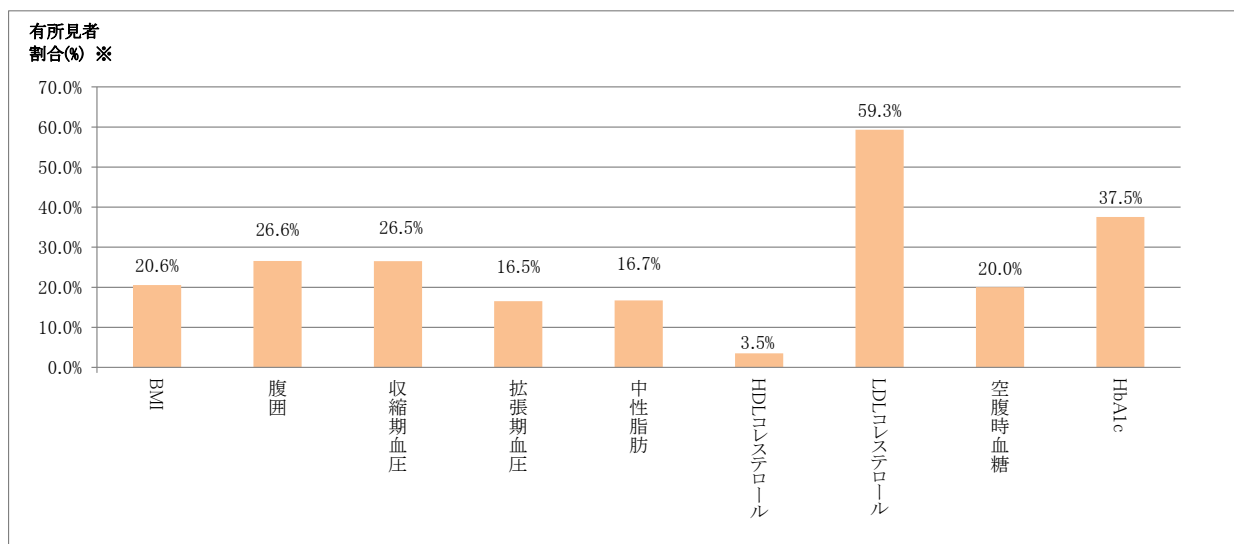
#### ① 有所見者の状況

特定健康診査受診者の健診項目別有所見者割合を以下に示す。

#### 有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	2,688	2,688	2,688	2,688
有所見者数(人) ※	553	714	713	444
有所見者割合(%) ※	20.6%	26.6%	26.5%	16.5%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	2,688	2,688	2,688	2,186	2,578
有所見者数(人) ※	450	95	1,595	438	968
有所見者割合(%) ※	16.7%	3.5%	59.3%	20.0%	37.5%



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年1月～平成28年12月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成28年12月31日時点。

※対象者数…健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数…保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、 女性90cm以上、

収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

次に、血糖、血圧、脂質の3要素に着目し有所見の判定を行った。1項目以上有所見となった者の割合は、特定健康診査受診者の81.0%である。

### 特定健康診査有所見の状況

		対象者数(人)	構成比(%)
特定健康診査受診者		2,688	
所見 無 該当者		510	19.0%
所見 有 該当者		2,178	81.0%
「 所見 有 」 の 内 訳	3 有所見者(合計)	307	11.4%
	2 有所見者(合計)	850	31.6%
	血糖・血圧	86	
	血糖・脂質	491	
	血圧・脂質	273	
	1 有所見者(合計)	1,021	38.0%
	血糖	218	
	血圧	120	
	脂質	683	

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年1月～平成28年12月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成28年12月31日時点。

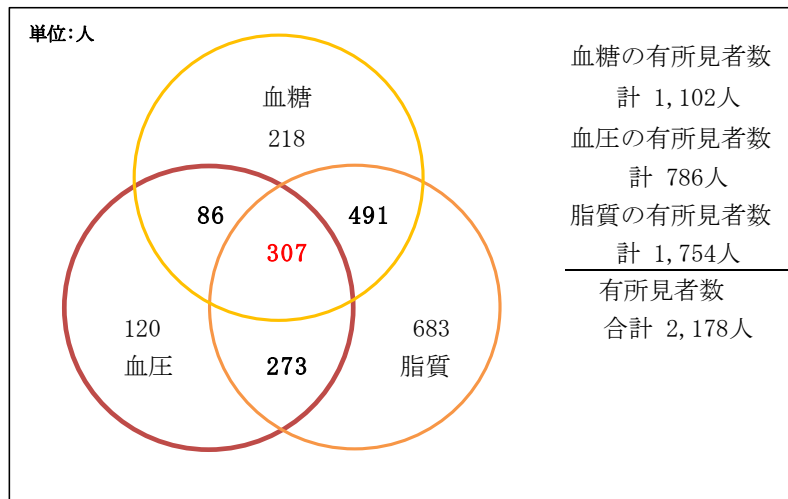
有所見の判定基準は以下の通りとする。

血糖：空腹時血糖値100mg/dl以上 または HbA1c5.6%以上

血圧：収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

脂質：HDLコレステロール39mg/dl以下 または LDLコレステロール120mg/dl以上 または 中性脂肪150mg/dl以上

### 特定健康診査有所見の状況と患者数



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年1月～平成28年12月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成28年12月31日時点。

有所見の判定基準は以下の通りとする。

血糖：空腹時血糖値100mg/dl以上 または HbA1c5.6%以上

血圧：収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

脂質：HDLコレステロール39mg/dl以下 または LDLコレステロール120mg/dl以上 または 中性脂肪150mg/dl以上



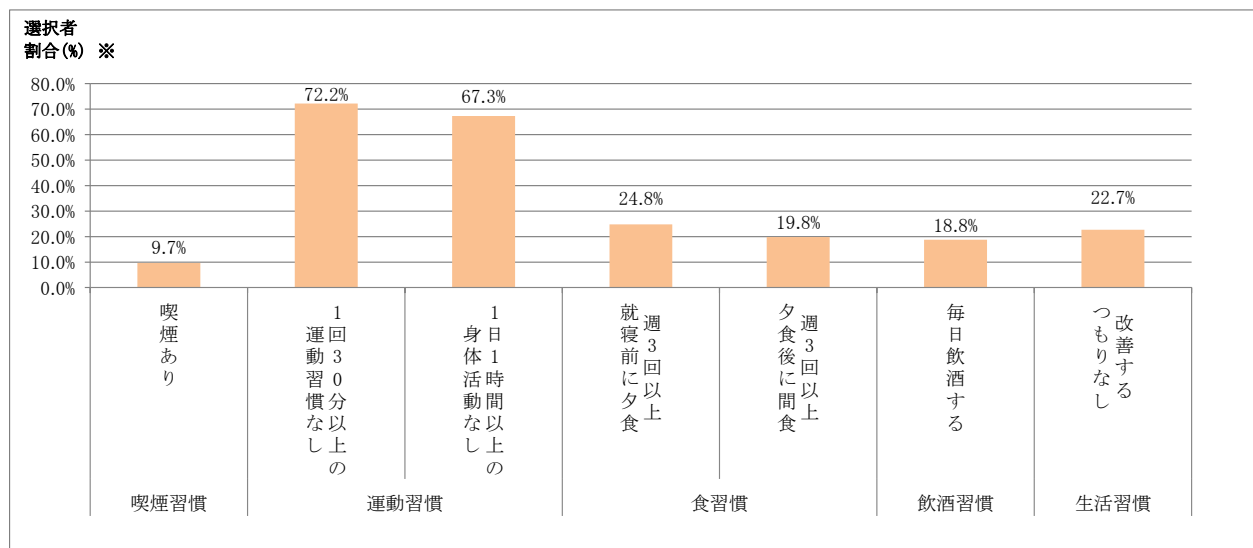
## ②質問別回答状況

特定健康診査受診者の質問票への質問別回答状況を以下に示す。

### 質問別回答状況

質問の選択肢	喫煙習慣	運動習慣	
	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	2,688	2,636	2,637
選択者数(人) ※	260	1,902	1,774
選択者割合(%) ※	9.7%	72.2%	67.3%

質問の選択肢	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	2,638	2,635	2,636	2,630
選択者数(人) ※	653	522	495	596
選択者割合(%) ※	24.8%	19.8%	18.8%	22.7%



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年1月～平成28年12月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成28年12月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

毎日飲酒する…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

改善するつもりなし…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

### ③特定健康診査の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況

特定健康診査受診状況を以下に示す。特定健康診査対象者7,685人のうち、特定健康診査受診者は2,645人で、受診率は34.4%(※)である。

#### 特定健康診査受診状況

項目	人数(人)	構成比(%)
特定健診受診者	2,645	34.4%
特定健診未受診者	5,040	65.6%
特定健診対象者	7,685	100.0%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年1月～平成28年12月健診分(12カ月分)。  
 資格確認日…平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)全てに資格がある被保険者を対象とする。  
 ※上記受診率は特定健康診査データを基に算出しており、法定報告値とは異なる。

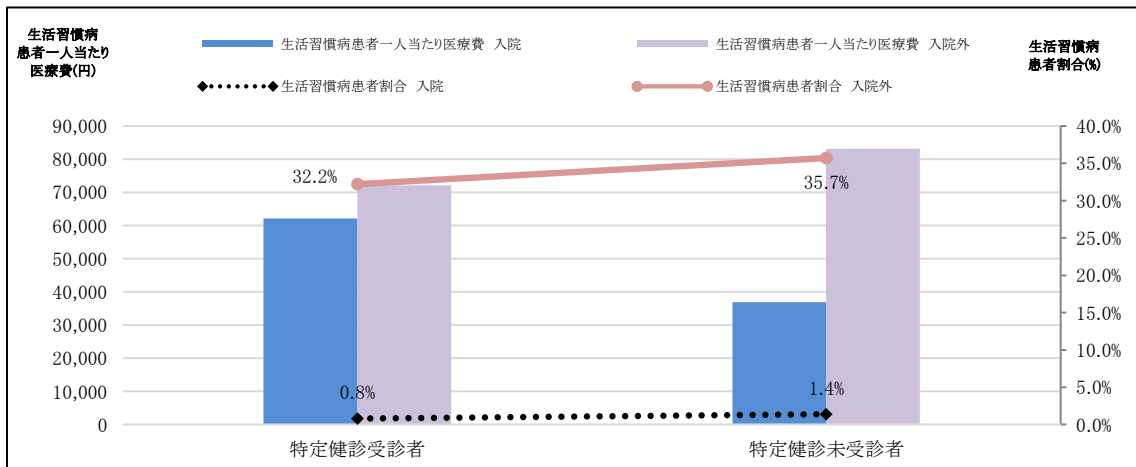
特定健康診査受診状況別に、生活習慣病の医療機関受診状況を分析した結果を以下に示す。特定健康診査受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査受診者全体の32.2%である。特定健康診査未受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査未受診者全体の35.8%である。

#### 特定健康診査受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況

項目	生活習慣病医療費(円)			生活習慣病患者数(人)			生活習慣病患者一人当たり医療費(円)			生活習慣病患者割合(%)		
	全体	入院	入院外	全体	入院	入院外	全体	入院	入院外	全体	入院	入院外
特定健診受診者	62,789,114	1,366,649	61,422,465	853	22	852	73,610	62,120	72,092	32.2%	0.8%	32.2%
特定健診未受診者	152,319,022	2,584,746	149,734,276	1,804	70	1,800	84,434	36,925	83,186	35.8%	1.4%	35.7%
特定健診対象者	215,108,136	3,951,395	211,156,741	2,657	92	2,652	80,959	42,950	79,622	34.6%	1.2%	34.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
 対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。  
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年1月～平成28年12月健診分(12カ月分)。  
 資格確認日…平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)全てに資格がある被保険者を対象とする。

#### 特定健康診査受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
 対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。  
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年1月～平成28年12月健診分(12カ月分)。  
 資格確認日…平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)全てに資格がある被保険者を対象とする。

#### ④特定健康診査未受診者の医療機関受診状況

特定健康診査未受診者の医療受診状況を以下に示す。特定健康診査未受診者5,040人のうち、35.8%が既に生活習慣病(糖尿病、脂質異常症、高血圧性疾患)で医療機関を受診している。また、年齢階層別にみると、年代が上がるにつれて医療機関を受診する割合が高くなっている。

年齢階層別 特定健康診査未受診者の医療機関受診状況

	A	B	B/A	C	C/B	D(B-C)	D/B
	特定健康診査対象者(人)	特定健康診査未受診者(人)	構成比(%)	生活習慣病による医療機関受診者(人)	構成比(%)	生活習慣病による医療機関未受診者(人)	構成比(%)
40歳～44歳	1,192	810	68.0%	109	13.5%	701	86.5%
45歳～49歳	1,186	775	65.3%	157	20.3%	618	79.7%
50歳～54歳	1,272	815	64.1%	217	26.6%	598	73.4%
55歳～59歳	1,383	849	61.4%	332	39.1%	517	60.9%
60歳～64歳	1,228	774	63.0%	382	49.4%	392	50.6%
65歳～69歳	985	693	70.4%	390	56.3%	303	43.7%
70歳～74歳	439	324	73.8%	217	67.0%	107	33.0%
計	7,685	5,040	65.6%	1,804	35.8%	3,236	64.2%

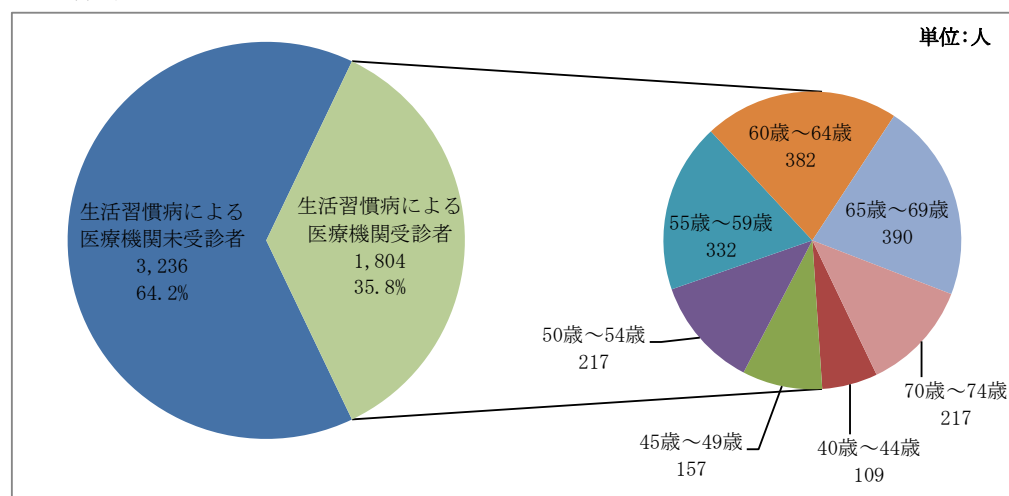
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年1月～平成28年12月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)全てに資格がある被保険者を対象とする。

年齢階層別 特定健康診査未受診者に占める医療機関受診者数



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年1月～平成28年12月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)全てに資格がある被保険者を対象とする。

## (2) 特定保健指導に係る分析

### ①保健指導レベル該当状況

平成28年1月～平成28年12月健診分(12カ月)における、保健指導レベル該当状況は以下の通りである。積極的支援対象者は157人、動機付け支援対象者は225人である。

#### 保健指導レベル該当状況

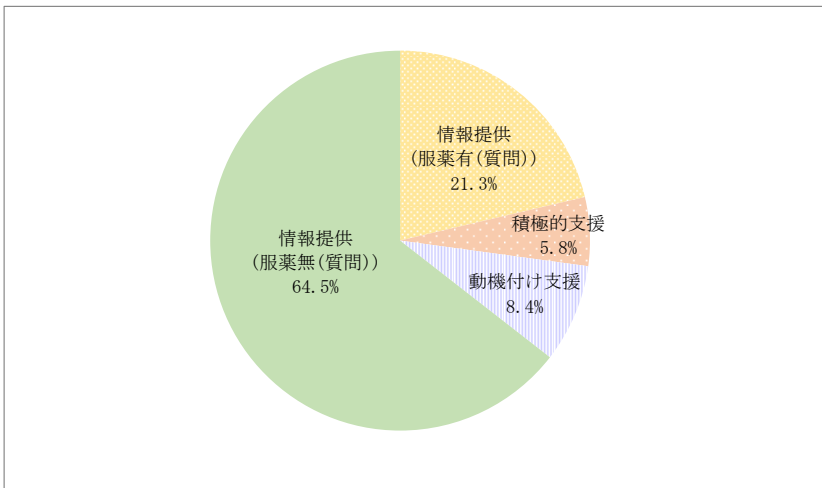
	健診受診者	該当レベル					判定不能
		特定保健指導対象者		情報提供			
		積極的支援	動機付け支援	服薬有(質問)	服薬無(質問)		
該当者数(人)	2,688	382	157	225	573	1,733	0
割合(%)※	-	14.2%	5.8%	8.4%	21.3%	64.5%	0.0%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年1月～平成28年12月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成28年12月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

#### 保健指導レベル該当割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年1月～平成28年12月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成28年12月31日時点。

#### 特定保健指導の対象者(階層化の基準)

腹囲/BMI	追加リスク	喫煙歴(注)	対象	
	①血糖 ②脂質 ③血压		40歳-64歳	65歳-74歳
≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当	あり	積極的支援	動機付け支援
	1つ該当	なし		
上記以外でBMI ≥25	3つ該当	あり	積極的支援	動機付け支援
	2つ該当	なし		
	1つ該当			

(注)喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下の通りである。

①血糖：空腹時血糖が100mg/dl以上、またはHbA1c(NGSP値)5.6%以上(空腹時血糖及びHbA1c(NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質：中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満

③血压：収縮期血压130mmHg以上、または拡張期血压85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。

※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

## ②特定保健指導対象者・非対象者の生活習慣病医療費比較

積極的支援及び動機付け支援の該当者を「対象者」とし、情報提供の該当者を「非対象者」とする。ただし、情報提供の該当者には質問票で服薬有と回答した者が含まれるため、「非対象者」を「非対象者(服薬有)」と「非対象者(服薬無)」に分ける。これらのグループ別に生活習慣病の患者一人当たり医療費(入院外)を比較すると「非対象者(服薬有)」が最も高く、次に「対象者」が高い。特定保健指導により「対象者」の生活習慣改善を促し、服薬開始を防ぐことが重要である。

### 特定健康診査受診者の保健指導レベル別人数

		人数(人)	構成比(%)
特定健診受診者計		2,645	100.0%
対象者	積極的支援	156	5.9%
	動機付け支援	220	8.3%
非対象者	情報提供 (服薬無(問診))	1,704	64.4%
	情報提供 (服薬有(問診))	565	21.4%
	判定不能	0	0.0%

※分析対象期間を通して資格がある被保険者を対象としているため、各人数の内訳は前項とは一致しない。

### 特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病医療費

	該当者数 (人)	生活習慣病医療費(円)			生活習慣病患者数(人)			生活習慣病患者 一人当たり医療費(円)		
		全体	入院	入院外	全体	入院	入院外	全体	入院	入院外
対象者	376	4,921,806	7,964	4,913,842	98	1	98	50,223	7,964	50,141
非対象者										
情報提供 (服薬無(問診))	1,704	3,877,952	296,951	3,581,001	231	3	230	16,788	98,984	15,570
情報提供 (服薬有(問診))	565	53,989,356	1,061,734	52,927,622	524	18	524	103,033	58,985	101,007

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年1月～平成28年12月健診分(12カ月分)。

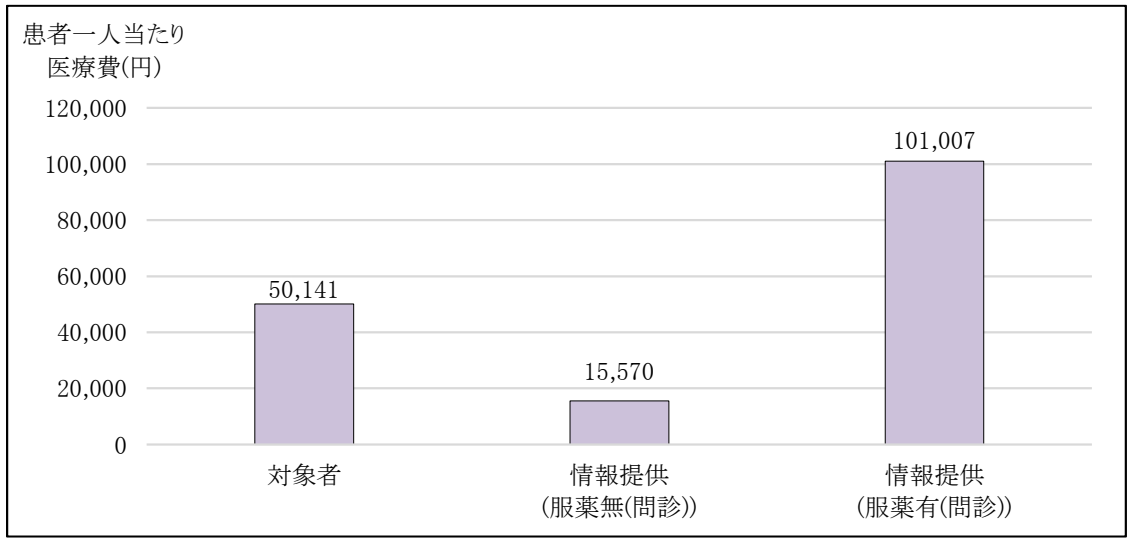
資格確認日…平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)全てに資格がある被保険者を対象とする。

健康診査データの保健指導レベルにより、「対象者」、「非対象者」を区分。

※情報提供(服薬無(問診))…保健指導レベルが「情報提供」、かつ質問票にて服薬状況をいづれも「いいえ」と回答した人数。

※情報提供(服薬有(問診))…保健指導レベルが「情報提供」、かつ質問票にて服薬状況をいづれかに「はい」と回答した人数。

特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年1月～平成28年12月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)全てに資格がある被保険者を対象とする。

健康診査データの保健指導レベルにより、「対象者」、「非対象者」を区分。

※情報提供(服薬無(問診))…保健指導レベルが「情報提供」、かつ質問票にて服薬状況をいずれも「いいえ」と回答した人数。

※情報提供(服薬有(問診))…保健指導レベルが「情報提供」、かつ質問票にて服薬状況をいずれかに「はい」と回答した人数。

## 5. 分析結果に基づく健康課題の把握

### (1) 分析結果

平成28年1月～平成28年12月診療分(12カ月分)における分析結果を以下に示す。

#### 【疾病大分類別】

医療費総計が高い疾病		医療費
1位	新生物<腫瘍>	398,902,600円
2位	呼吸器系の疾患	312,425,283円
3位	循環器系の疾患	298,158,885円

患者数が多い疾病		患者数
1位	呼吸器系の疾患	10,860人
2位	眼及び付属器の疾患	7,849人
3位	皮膚及び皮下組織の疾患	7,389人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	周産期に発生した病態	194,289円
2位	新生物<腫瘍>	111,239円
3位	循環器系の疾患	94,056円

#### 【疾病中分類別】

医療費総計が高い疾病		医療費
1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	118,407,437円
2位	その他の消化器系の疾患	115,899,930円
3位	高血圧性疾患	93,909,132円

患者数が多い疾病		患者数
1位	屈折及び調節の障害	6,463人
2位	アレルギー性鼻炎	5,655人
3位	その他の急性上気道感染症	5,369人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	白血病	1,677,952円
2位	腎不全	537,061円
3位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	455,759円

### 【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	184,490件	高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの 医療費
高額レセプト 件数割合	0.3%	1位	その他の血液及び造血器の疾患並び に免疫機構の障害	11,687,000円
高額レセプト 医療費割合	24.9%	2位	貧血	8,996,370円
		3位	白血病	7,576,403円

### 【生活習慣病の状況】

疾病別医療費	医療費
糖尿病	83,278,738円
脂質異常症	72,378,034円
高血圧性疾患	93,909,132円

疾病別患者数	患者数
糖尿病	1,950人
脂質異常症	1,795人
高血圧性疾患	1,768人

### 【がん(悪性新生物)の状況】

医療費が高い疾病		医療費
1位	肺がん	60,452,717円
2位	乳がん	42,791,919円
3位	大腸がん	35,453,605円

患者数が多い疾病		患者数
1位	大腸がん	450人
2位	子宮がん	387人
3位	胃がん	344人



## (2) 分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆生活習慣病の予防</p> <p>疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額である。被保険者に向けて、特定健康診査の実施の案内を徹底し、特定健康診査の結果、特定保健指導が必要な人には生活習慣の改善を指導等して生活習慣病を予防する必要がある。</p> <p>生活習慣病対策の効果的な遂行に当たっては、40歳以上を対象とする特定健康診査の他に、年代を限定せずより多彩な検査が可能となる人間ドックや歯科医師国保健診も案内し、より多くの被保険者が自身の健康状態を把握するきっかけを増やし、生活習慣病の早期発見、早期治療につなげる取り組みが必要となる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健康診査の実施</li> <li>・ 特定保健指導の実施</li> <li>・ 人間ドック事業</li> <li>・ 歯科医師国保健診事業</li> </ul>
<p>◆がん(悪性新生物)対策</p> <p>疾病大分類において「新生物&lt;腫瘍&gt;」の医療費が最も高く、患者一人当たりの医療費順でも2位となっている。がんの種類別の分析では、大腸がんは医療費順で3位、患者数順では1位である。がん検診を新規で実施することで、がんを早期発見し、適切な治療に導く必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ がん検診事業</li> </ul>

# 第3章 保健事業実施内容

## 1. 各事業の目的と概要一覧

本データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

事業	目的	事業概要	実施内容	目標	
				アウトプット	アウトカム
特定健康診査	被保険者の健康状態把握	40歳以上75歳未満の被保険者を対象に特定健康診査を実施する。	対象者を特定し、受診通知書を発送する。通知後に、対象者が特定健康診査を受診したかどうかを確認する。	診療所への通知率 100%	特定健康診査受診率 40%
特定保健指導	生活習慣病と予備群の改善	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように指導を行う。	指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データより検査値の推移を確認する。	当該年度における対象者への通知率 100%	特定保健指導実施率 5%
人間ドック	被保険者の健康状態把握	組合の指定する医療機関等で人間ドックを受診した場合に補助金を支給する。	組合員に指定医療機関等を案内し、当該医療機関等で人間ドックを受診した場合に、1人1回10,000円を上限に補助金を支給する。 ※40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳に到達する正組合員には1人1回10,400円を上限に特別補助が加算される。	4月発行分「愛歯国保だより」への掲載、配布	人間ドック受診率 10%
歯科医師国保健診	被保険者の健康状態把握	準組合員を対象に、組合の指定する健康診断を受けた場合に補助金を支給する。	準組合員が、組合の指定する健康診断を受診した場合に、1人1回2,500円を上限に補助金を支給する。	4月発行分「愛歯国保だより」への掲載、配布	歯科医師国保健診受診率 30%
【新規】 がん検診	がんの早期発見	被保険者を対象に、組合の指定する医療機関等で指定するがん検診を受診した場合に補助金を支給する。	正組合員に指定医療機関等を案内し、当該医療機関等でがん検診を受診した場合に補助金を支給する。	正組合員への周知	がんの早期発見

## 2. 全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

事業名	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度
(1) 特定健康診査 受診勧奨事業	P						P
	D						
		CA					
(2) 特定保健指導事業	P						P
	D						
		CA					
(3) 人間ドック事業	P						P
	D						
		CA					
(4) 歯科医師国保健診事業	P						P
	D						
		CA					
<b>【新規】</b> (5) がん検診事業	P						P
		D					
		CA					

### 3. 各事業の実施内容と評価方法

本データヘルス計画における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

#### (1) 特定健康診査事業

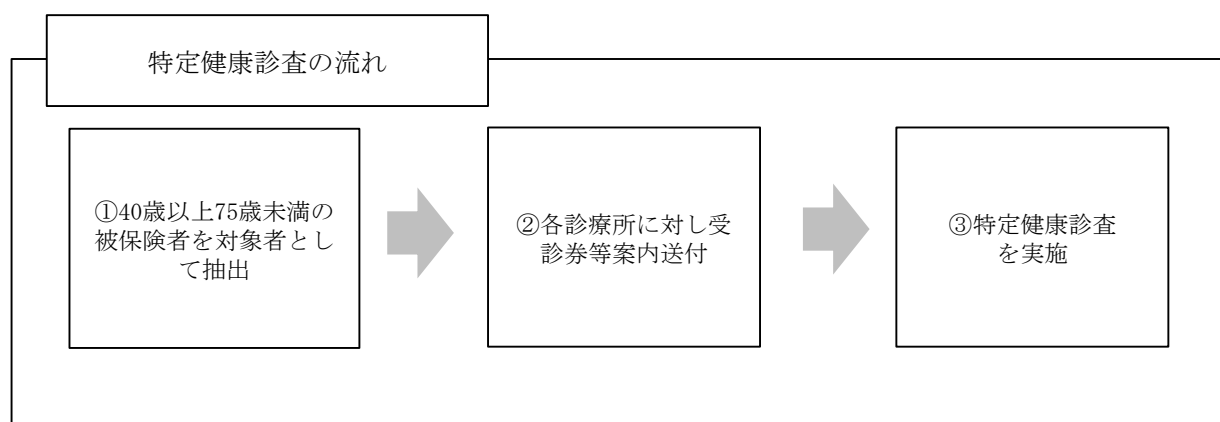
##### 【目的】

被保険者の健康状態把握

##### 【事業概要】

40歳から74歳までの被保険者を対象に、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）に着目した特定健康診査を実施する。当国保組合と集合契約を締結した総合病院を含む東海四県（愛知、岐阜、三重、静岡）の医療機関で受講した場合に係る費用は組合が負担する。

##### 【実施内容】



##### ●健診項目

- ・ 既往歴の調査
- ・ 肝機能検査
- ・ 自覚症状及び他覚症状の有無の検査
- ・ 血中脂質検査
- ・ 身長、体重及び腹囲の検査
- ・ 血糖検査
- ・ BMIの測定
- ・ 尿検査
- ・ 血圧の測定

##### 【目標及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
対象者への通知率 100%	特定健康診査受診率 40%	特定健康診査受診率を確認する。

## (2) 特定保健指導事業

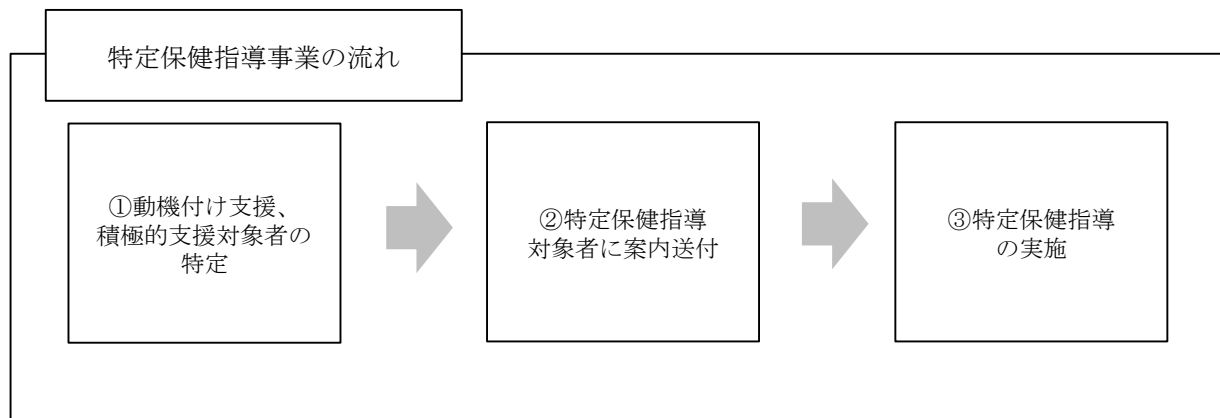
### 【目的】

生活習慣病該当者及び予備群の減少

### 【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるよう指導を行う。

### 【実施内容】



### 【目標及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
当該年度における対象者への通知率 100%	特定保健指導実施率 5%	特定保健指導実施率を確認する。

### (3) 人間ドック事業

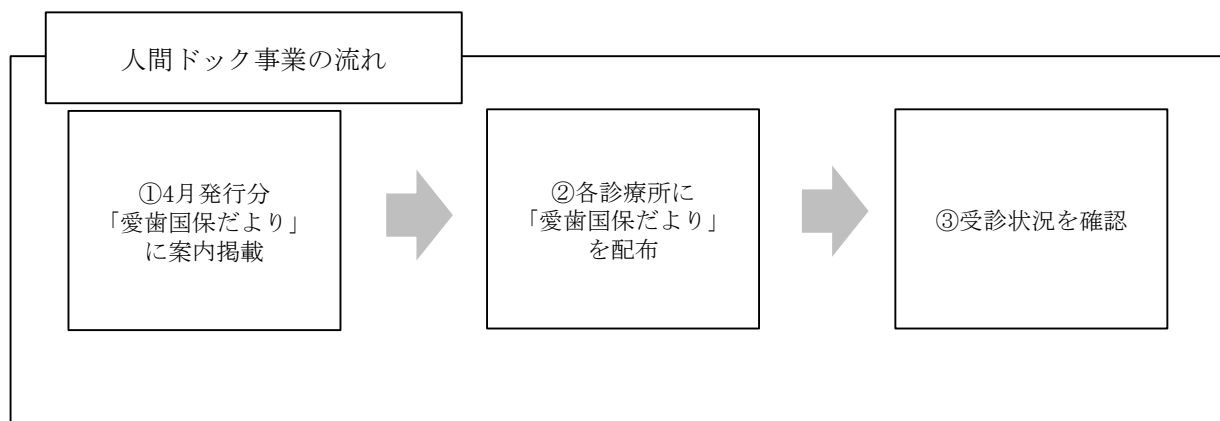
#### 【目的】

健康状態の把握

#### 【事業概要】

指定の健診機関で人間ドックを受けた場合、年間1回に限り補助金10,000円以内を支給する。当該年度に40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳に到達する正組合員には1人10,400円以内の特別補助を加算する。

#### 【実施内容】



#### 【目標及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
4月発行分「愛歯国保だより」への掲載、配布	人間ドック受診率 10%	人間ドック受診率を確認する。

#### (4) 歯科医師国保健診事業

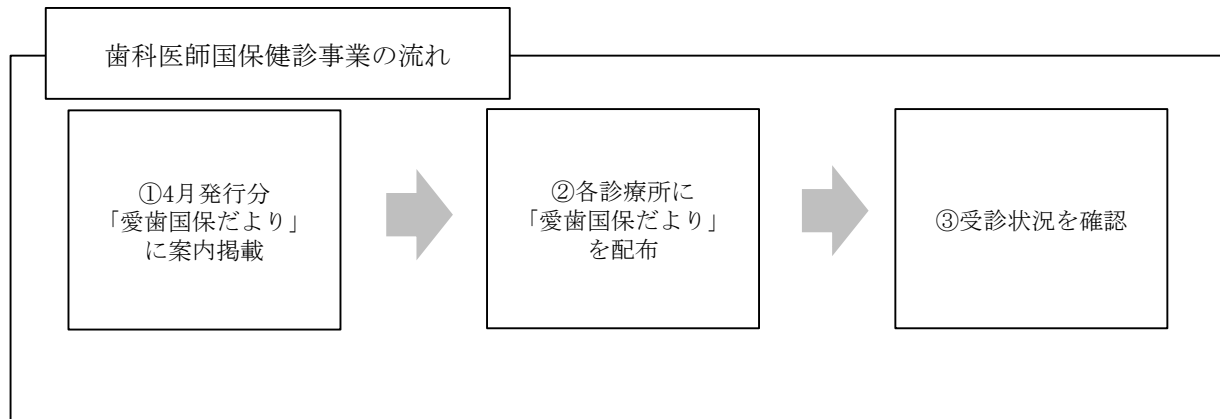
##### 【目的】

健康状態の把握

##### 【事業概要】

準組合員が指定の健診機関で健診を受けた場合1人1回2,500円以内の補助金を支給する。

##### 【実施内容】



##### 【目標及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
4月発行分「愛歯国保だより」への掲載、配布	歯科医師国保健診受診率 30%	歯科医師国保健診受診率を確認する。

## (5) がん検診事業【新規】

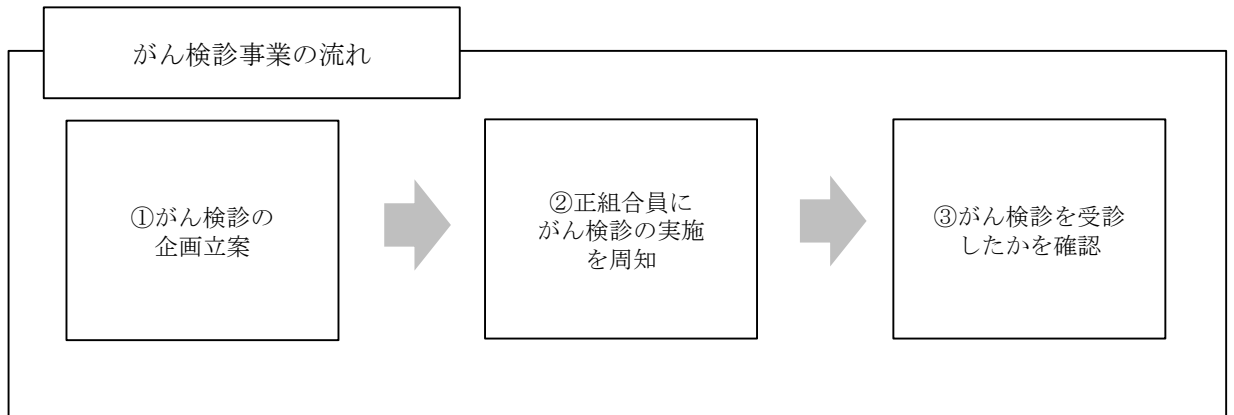
### 【目的】

がんの早期発見

### 【事業概要】

被保険者を対象に、組合の指定する医療機関等で指定するがん検診を受診した場合に補助金を支給する。

### 【実施内容】



### 【目標及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

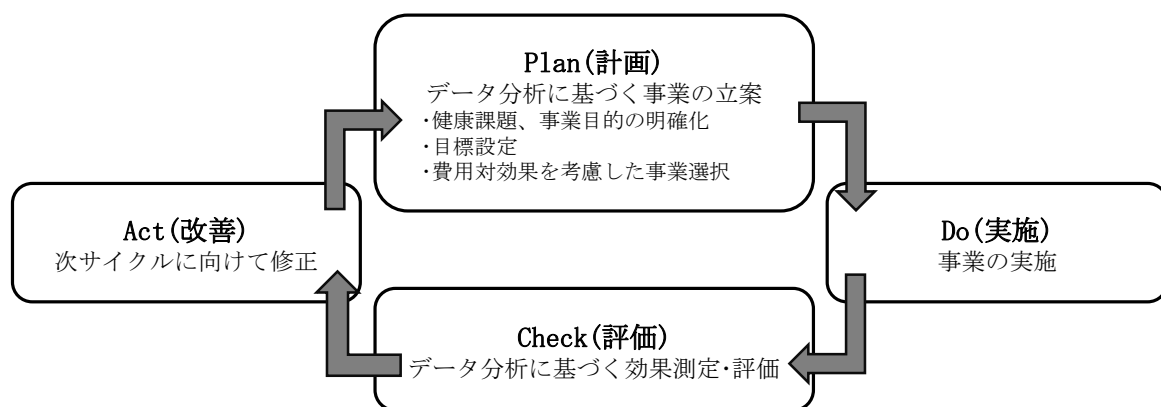
アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
正組合員への周知	がんの早期発見	がん検診受診率を確認する。 ※今後の目標設定に反映



## 第4章 その他

### 1. データヘルス計画の見直し

計画の見直しは、最終年度となる平成35年度に、計画に掲げた目的・目標の達成状況の評価を行う。分析や評価の結果から、取り組むべき保健事業の変更や見直しを行い、次期計画を策定する際の参考にする。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

### 2. 計画の公表・周知

本計画は、ホームページ等で公表し、広く組合員に周知する。

### 3. 事業運営上の留意事項

保健事業の実施にあたっては、効果的・効率的に事業を推進するため、健診機関と連携して行い、組合全体の健康水準の底上げを図る。

### 4. 個人情報の保護

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」、「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」及び「愛知県歯科医師国民健康保険組合個人情報保護規則」に基づき管理する。

## 愛知県歯科医師国民健康保険組合

〒460-0002愛知県名古屋市中区丸の内三丁目5-18愛知県歯科医師会館内6階  
TEL052-962-9539 FAX052-962-9535